

令和6年度

要覧



ものづくり情報ライブラリー

神奈川県立川崎図書館

基 本 理 念

神奈川県立の図書館は

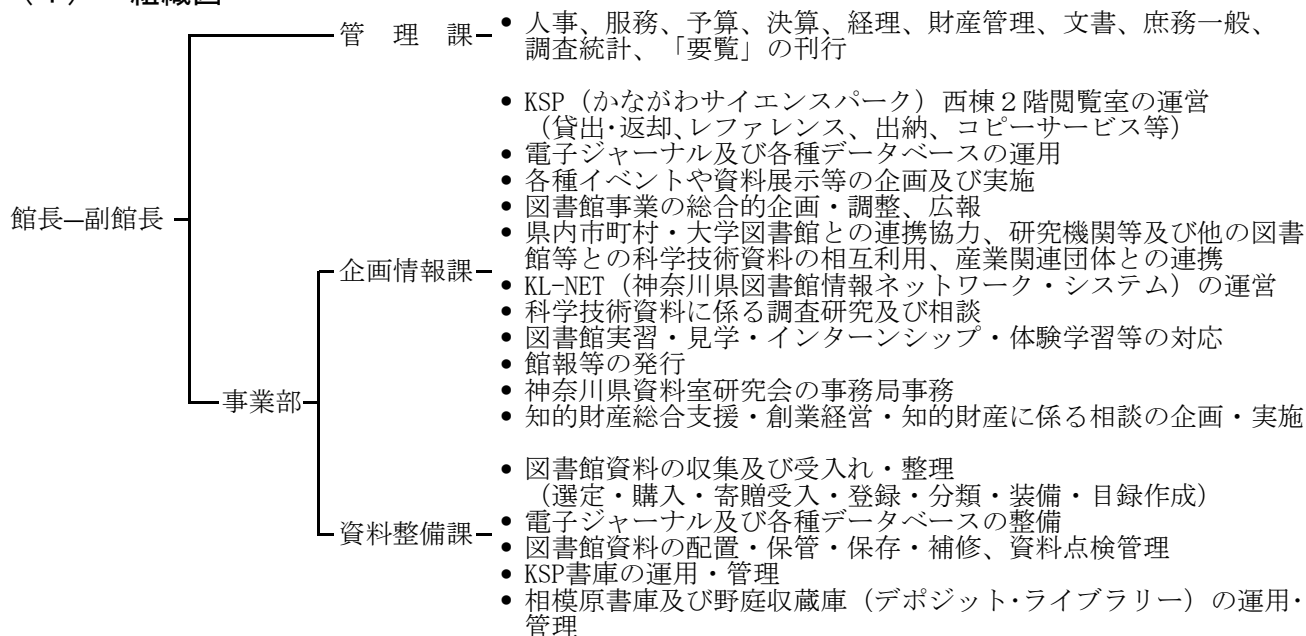
「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、
神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与します。

目 次

1	組 織	1
2	沿 革	2
3	施設の概要	4
4	令和6年度 県立川崎図書館の取組み	5
5	令和5年度 県立川崎図書館の活動評価	9
6	令和6年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画	14
7	予算・決算	15
8	令和5年度 事業の概況	16
9	令和5年度 講座等実施状況	28
事 業 統 計 (令和5年度)		
第 1 表	部門別蔵書冊数	34
第 2 表	逐次刊行物保有状況	34
第 3 表	その他資料の保有状況	34
第 4 表	電子書籍・電子ジャーナル等の提供状況	34
第 5 表	開館日数・入館者数	35
第 6 表	レファレンス件数	35
第 7 表	書庫内資料の利用数	36
第 8 表	電子書籍、電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数	37
第 9 表	個人貸出登録者数	37
第 10 表	個人貸出冊数	38
第 11 表	リクエストサービス	38
第 12 表	複写サービス	39
第 13 表	講習会・講座・講演会等	39
第 14 表	知的財産関連等相談	40
第 15 表	視聴覚資料の貸出状況	41
第 16 表	他の図書館等への貸出状況	41
第 17 表	年度別蔵書冊数	42
第 18 表	年度別入館者数・個人貸出冊数	42
	館 内 案 内 図	43

1 組織 (令和6年4月1日現在)

(1) 組織図



(2) 職員の構成

		館長	副館長	部長	課長	副主幹	主査	主任司書	主事	司書	小計	任期付司書	臨時司書	会計年度任用職員	合計	備考
館長・副館長		1	1								2				2	
管理課					*	2			2		4			2	6	*副館長が管理課長職を兼務
事業部	企画情報課			1	1		1	3		3	9	1	1	14	25	部長を含む
	資料整備課				1	1	1				3		2	7	12	
	部計			1	2	1	2	3		3	12	1	3	21	37	
合計		1	1	1	2	3	2	3	2	3	18	1	3	23	45	
司書有資格者数				1	2	1	2	3		3	12	1	3	21	37	

2 沿革

昭和 33 年 11 月 1 日	神奈川県立図書館条例（昭和33年条例第32号）をもって設置 （所在地：川崎市川崎区富士見2-1-4）
同	神奈川県立図書館組織規則（昭和29年教委規則第8号）改正により2課3係制
昭和 33 年 12 月 20 日	落成開館式を挙行
昭和 34 年 1 月 12 日	開館し、館内閲覧業務を開始
昭和 34 年 3 月 20 日	附属機関の設置に関する条例（昭和28年条例第5号）に基づき、神奈川県立川崎図書館協議会を設置
昭和 34 年 5 月 15 日	商工資料室開室、工業所有権公報類の公開閲覧業務を開始
昭和 35 年 1 月 13 日	社会人に図書館外個人貸出しを開始
昭和 35 年 4 月 20 日	小中学生を対象に図書館外個人貸出しを開始
昭和 35 年 7 月 1 日	図書資料の複写サービスを開始
昭和 36 年 4 月 16 日	視聴覚資料の貸出し、また図書の工場等団体並びに大学生の館外個人貸出しを開始
昭和 39 年 5 月 1 日	自動車による工場巡回文庫を設け、工場、事業所の従業員に対し、配本を開始
昭和 40 年 9 月 1 日	高校生に図書館外個人貸出しを開始
昭和 42 年 1 月 16 日	書庫を増築、川崎市から取得
昭和 44 年 7 月 16 日	神奈川県立図書館組織規則改正により2課4係制
昭和 45 年 8 月 18 日	移動図書館車による青雲文庫を設け、工場、事業所の寮に住む勤労青少年に対し、配本を開始
昭和 46 年 2 月 25 日	特許庁により公開公報閲覧所に指定
昭和 46 年 6 月 2 日	神奈川県立図書館組織規則改正により3課7係制
昭和 46 年 7 月 1 日	理工学文庫を設け、他の公共図書館に対し、理工学関係図書の配本を開始
昭和 47 年 8 月 1 日	神奈川県立図書館組織規則（昭和47年教委規則第13号）が施行され3部7課制
昭和 49 年 8 月 1 日	神奈川県立図書館組織規則改正により3部8課制
昭和 53 年 11 月 17 日	開館20周年記念「図書館まつり」開催（19日まで）
昭和 55 年 4 月 1 日	図書館協力車事業本格運行を開始
昭和 57 年 12 月 16 日	1階改修工事により障がい者施設の整備と科学技術資料室の充実等を実施
昭和 58 年 4 月 1 日	神奈川県科学技術文献相互利用を開始
昭和 59 年 3 月 31 日	工場巡回自動車文庫（工場巡回文庫、青雲文庫）を廃止
昭和 59 年 4 月 1 日	神奈川県立図書館組織規則（昭和59年教委規則第4号）が施行され3部8課制
昭和 59 年 12 月 1 日	国立国会図書館データベースオンラインによる検索サービス業務開始
昭和 60 年 4 月 1 日	附属機関の設置に関する条例改正により、県立川崎図書館協議会と県立図書館協議会が統合され、神奈川県立図書館協議会を設置。ファクシミリサービスを開始
昭和 60 年 9 月 19 日	改修工事（空調設備全面更新、その他改修）のため休館
昭和 61 年 4 月 19 日	改修工事完了のため開館（60年9月27日～61年3月23日仮設図書館開設）
平成 元 年 2 月 15 日	開館30周年記念式典を挙行
平成 2 年 4 月 24 日	県立図書館においてKL-NET一部稼働
平成 3 年 4 月 16 日	KL-NET全面稼働
平成 4 年 3 月 31 日	団体貸出しを廃止
平成 5 年 1 月 21 日	特許検索用CD-ROMを導入
平成 5 年 3 月 31 日	理工学文庫を廃止
平成 8 年 9 月 17 日	特許庁の特許公報類閲覧所の指定が解除され、知的所有権センター支部として認定
平成 10 年 1 月 7 日	リニューアル工事のため、全館休館（4月15日まで）
平成 10 年 4 月 1 日	神奈川県立図書館組織規則改正により、3部7課制。リニューアルオープン
平成 12 年 3 月 1 日	KL-NETを更新
平成 13 年 4 月 1 日	附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県立図書館協議会を廃止し、それに代わる意見聴取のための図書館アドバイザー会議を設置。祝日開館を開始
平成 13 年 6 月 5 日	ITコーナー（インターネット一般公開）開設
平成 14 年 4 月 1 日	図書館アドバイザー会議を廃止し図書館アドバイザーレクチャー制度の導入
平成 16 年 4 月 15 日	生涯学習文化財課収蔵センターに科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリーを開設
平成 17 年 4 月 15 日	KL-NETを更新
平成 17 年 10 月 1 日	ビジネス支援室（1階）を開設

平成 18 年	4 月	1 日	神奈川県立図書館組織規則改正により 2 部 6 課制
	同		やさしい科学コーナー・おすすめ本コーナー（1 階）、化学文献室（地下 1 階）を開設
平成 18 年	9 月	19 日	生態学コーナー（1 階）を開設
平成 19 年	10 月	12 日	ビジネス情報クイックコーナー（1 階）を開設
平成 20 年	9 月	12 日	サイエンス・ナウ（Science Now!）コーナー開設
平成 20 年	11 月	13 日	開館50周年記念式典を挙げる
平成 21 年	3 月	31 日	生態学コーナー（1 階）を廃止
平成 22 年	4 月	1 日	神奈川県立図書館組織規則改正により 1 部 4 課制
平成 24 年	3 月	31 日	知的所有権センター認定要領廃止（名称は継続使用）
	同		ビジネス情報クイックコーナー（1 階）を廃止
平成 26 年	6 月	25 日	「社史フェア2014」を初開催（27日まで）
平成 27 年	9 月	11 日	社史コレクションがテレビ番組「タモリ倶楽部」（テレビ朝日系列）で放映
平成 29 年	10 月	1 日	KSP（川崎市高津区坂戸 3-2-1）への移転準備のため一部休館（1 階ビジネス支援室の供用休止、貸出・予約・リクエスト等休止）
平成 29 年	11 月	22 日	入館者数1,000万人を達成
平成 29 年	12 月	1 日	KSPへの移転準備のため平成30年5月14日まで全面休館
平成 30 年	4 月	1 日	KSPに移転
	同		神奈川県立図書館組織規則改正により 1 部 3 課制
平成 30 年	5 月	14 日	移転再開館記念式典を挙げる
平成 30 年	5 月	15 日	「ものづくり情報ライブラリー」として再開館
	同		公共図書館として初めて、海外の電子ジャーナル・データベース（IEEE、Scopus）を導入
令和 元 年	11 月	21 日	開館60周年記念講演会を開催
令和 2 年	3 月	4 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため一部サービス（閲覧室の利用、資料の閲覧等の利用）の休止
令和 2 年	4 月	12 日	特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針を踏まえ臨時休館
令和 2 年	5 月	27 日	国における緊急事態宣言解除に伴い、仮設カウンターを設置し予約貸出及び返却のサービスを再開
令和 2 年	6 月	9 日	「県立の図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策ガイドライン」及び「県立川崎図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策マニュアル」に基づき、閲覧室の座席削減や入場制限などの拡大予防策を講じた上で閲覧サービスを再開
令和 3 年	1 月	12 日	国の緊急事態宣言を受けた「特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針」に基づき、平日の開館時間を午前 9 時 30 分から午後 7 時までに変更
令和 3 年	3 月	22 日	国における緊急事態宣言解除に伴い、平日の開館時間を通常の前日 9 時 30 分から午後 7 時 30 分までとして運営再開
令和 3 年	12 月	27 日	令和 4 年 3 月 28 日までの期間限定で、令和 2 年に刊行された 200 点の社史を展示する「社史フェア 2021」をオンラインで開催
令和 4 年	3 月	31 日	「神奈川県知的所有権センター支部」の名称を廃止
令和 4 年	6 月	1 日	県立図書館と共同で、辞書・事典を中心とした電子書籍サービスを開始
令和 4 年	12 月	14 日	令和 4 年 12 月 17 日までの 4 日間、令和 3 年に刊行された 195 点の社史を展示する「社史フェア 2022」をカンファレンスルームで開催
令和 5 年	5 月	8 日	新型コロナウイルス 5 類移行及び「県立の図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策ガイドライン」廃止に伴い、「県立川崎図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策マニュアル」を廃止し、通常開館を開始
令和 5 年	11 月	11 日	入門的な理工系図書の購入のため、総額 50 万円を目指し、神奈川県まなびや基金（事業提案型）の寄附募集を開始
令和 6 年	3 月	29 日	寄附募集していた神奈川県まなびや基金（事業提案型）が、目標額を達成

3 施設の概要

(1) 建物

名称	使用開始年月日	延床面積	所在地
かながわサイエンスパーク 西棟	平成29年10月1日	1,308.000 m ²	川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 かながわサイエンスパーク
かながわサイエンスパーク R&D棟	平成29年10月1日	1,182.710 m ²	同上
相模原書庫	平成30年2月1日	130.305 m ²	相模原市南区当麻3655番
野庭収蔵庫	平成15年4月1日	1,491.840 m ²	横浜市港南区野庭町1660番
合計	—	4,112.855 m ²	—

(2) 建物の内訳

ア かながわサイエンスパーク

(ア) 西棟…………… 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄筋コンクリート造）、2階
 閲覧室、ディスカッションルーム、知財スポット、
 カンファレンスルーム、コンサルティングルーム
 （合計座席数140席）

(イ) R&D棟…………… 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄筋コンクリート造）、2階
 事務室、書庫A、書庫B

イ 相模原書庫(外部書庫)…………… 鉄筋コンクリート造、4階
 (株)ギオン アーカイブセンター内

ウ 野庭収蔵庫…………… 鉄筋コンクリート造
 北棟3階 事務室、書庫(雑誌) 7室
 北棟4階 書庫(図書・雑誌) 6室
 南棟4階 書庫(雑誌) 9室 計22室

(3) 蔵書の状況 (令和6年4月1日時点)

ア かながわサイエンスパーク

(ア) 西棟…………… 図書 約66,000冊
 雑誌(専門雑誌最新号) 約1,000タイトル

(イ) R&D棟…………… 図書 約28,000冊
 雑誌(上記(3)ア(ア)の雑誌タイトル数を含む)
 洋394タイトル
 和5,644タイトル

イ 相模原書庫(外部書庫)…………… 図書 約139,000冊

ウ 野庭収蔵庫(デポジット・ライブラリー)…………… 図書 約25,000冊
 雑誌 洋1,798タイトル
 和224タイトル

エ 合計…………… 図書 約258,000冊
 雑誌 8,060タイトル

4 令和6年度 県立川崎図書館の取組み

(1) 県立の図書館の基本理念

神奈川県立の図書館は、「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与する。

(2) 県立川崎図書館運営方針

ア 基本方針(令和4(2022)年度～令和7(2025)年度)

「ものづくり技術」を支える機能に特化した専門的図書館として利用者のニーズに応えるとともに、SDGsの理念を踏まえ、人生100歳時代に向け、県民一人ひとりの生涯にわたる「学び」や社会参加等を支援することを目的とし、次の基本方針を定める。

- (ア) 県立図書館との機能及びサービスの分担のもと、共に補完し合いながら県立の図書館として一体的な運用を行う。
- (イ) 科学技術の最新動向を踏まえて資料・情報を収集・保存・提供し、県民に役立つ図書館サービスを展開して有用な「知の拠点」を築き、「調査研究活動」を支援する図書館サービスを展開して「価値創造」に結びつける。
- (ウ) 「ものづくり技術」の高度化や、技術開発のバックアップという県民のニーズに応えるため、ものづくり技術関連資料の収集を一層強化し、電子ジャーナル等による情報から専門書、知的財産・規格資料まで、「ものづくり技術」を「学び、活かし、拓く」資料等の収集、提供を積極的に行う。
- (エ) 県内産業関係団体、県内産業技術教育機関、県内試験研究機関、市町村図書館・大学図書館・高校図書館と密接な連携を図って、知的財産等に係る支援、相互の周知啓発活動、資料の相互貸借や図書館職員の人材育成などに努め、県域全体を支える図書館としての機能を充実させる。
- (オ) 所蔵資料を活用した館内展示や各種講演会、講座、子ども向けの実験教室、ものづくり支援相談などを企画・開催し、県立の図書館ホームページを始めとする様々なメディアを活用した発信に努め、人々の知的好奇心に応える多彩で魅力的な「知の機会」を提供する。
- (カ) 生涯を通じた学びと研究を可能にするために必要な資料、情報を、適切かつ快適な環境で提供するとともに、利用者がICT(情報通信技術)を活用できるよう、機会をとらえ県民の情報リテラシー向上を支援する。

また、「知の機会の提供」に加えて「研究成果の活用」の支援拠点としての機能を果たすことに力を注ぎ、人生100歳時代の「人づくり・社会づくり」に寄与する。

- (キ) 図書館の利用に障がいのある方に配慮し、図書館の設備、資料、情報をより利用しやすくなるよう、個々の状況に応じ、工夫してサービスの提供を進める。
- (ク) 図書館活動について常に「P<計画>→D<実施>→C<点検(評価)>→A<見直し>」のサイクルで業務の見直しを図り、図書館経営の持続的な改善を行う。また、県民からの意見・要望を真摯に受け止め、「開かれた図書館」としての運営を行う。

イ 令和6年度 重点的取組み

- (ア) 円滑な図書館運営の実現
基本方針に基づき、県立川崎図書館の魅力や役割等を実現するためサービスを円滑に提供できるように努める。
- (イ) デジタル化の推進
図書館におけるサービスのデジタル化推進に努める。電子書籍の充実を図るとともに、電子ジャーナルやデータベース等と併せ、電子リソースの周知に努め、利用促進を図る。
- (ウ) 新しいサービスの検討
令和5年6月1日施行の「図書館等公衆送信サービス(図書館資料のメール送信サービス)」について実施可能な条件等を調査し検討する。
- (エ) 県内産業団体等との連携の強化
「ものづくり技術」の支援を促進していくため、県内産業団体・企業や産業技術の教育機関、県内試験研究機関等との連携の強化に努める。また、将来のものづくり人材の発掘のため県立高校をはじめとする教育機関との連携を深める。
- (オ) 資料の収集強化
「ものづくり技術」を支える資料としての特許・規格を含む科学技術資料群を充実するとともに、全国有数のコレクションである社史の収集・整備を進める。さらに、「ものづくり技術」に親しむため理工系図書などの入門的な資料の収集に取り組む。
- (カ) 資料利活用のための保存機能の強化
貴重な収蔵資料を確実に将来に引き継ぐとともに、現在から将来にわたる利活用を保障するため、県立図書館収蔵館の再整備にあわせた資料の保存対策を検討、実施する。
- (キ) 行政支援サービス
神奈川の地域課題の解決や未来の社会づくりに貢献し、行政実務の遂行を支援するため、特に県内試験研究機関や高校図書館へ資料提供やレファレンスによる情報提供を行う。
- (ク) レファレンスサービス
レファレンスツールとなる資料の集積や、職員による電子リソース等の活用を図る。併せて、様々な機会を利用して職員のレファレンス能力の向上に努める。また、サービスの内容やその成果についての広報を強化し、「国立国会図書館レファレンス協同データベース」への事例提供を引き続き進める。
- (ケ) 「知の機会」の提供
当館の所蔵資料を活かしたものづくり技術に関連する催事や展示を通じ「知の機会」を提供する。人生100歳時代に向け、図書館が生涯を通じた「学び」と探求のきっかけづくりや県民の「学び直し」を支援するため、「大人の理科教室」などの講座を開催する。
- (コ) 図書館の利用に障がいのある方へのサービス
全ての方が利用しやすい施設であるように、館内の案内サイン、外国語の利用案内など利用者目線での施設の整備に努めるとともに、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」の理念に基づきサービスの向上を目指す。
- (サ) 図書館専門職員の人材育成
県域全体で質の高い図書館サービスを提供するため、市町村立図書館、県立学校図書館、専門図書館等の職員の能力開発や人材育成支援について、関係機関との連携の下に積極的に取り組むとともに、経験者選考で採用された職員のノウハウも業務運営に反映するよう努め

る。

(シ) 各事業の着実な実施及び広報・情報発信の強化

新たな利用者層を掘り起こすためのPRメディアとして、ホームページ、SNS、ポスター、チラシ等を活用する。また、自館作成の刊行物や県の広報媒体など、各種メディアを使って情報発信に努める。

ウ 図書館活動の数値目標

令和6年度は、次の数値目標を達成することを目指す。

(ア) 社会教育施設評価書の全館共通評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
利用状況	①利用者満足度	98.6%	利用者にアンケートを行い、満足度を調査
	②入館者	100,000人	年間入館者数
	③教育・普及事業への参加者	1,000人	研修、講座や知的財産相談等の参加者数
	④インターネットアクセス (両県立図書館共通)	1,270,000件	ホームページのアクセス件数
資料・収蔵品	⑤活用	1,700点	展示または各種メディア等で紹介した資料点数
	⑥維持管理	資料の棄損を防止する。	書き込み、切り取りや汚破損など資料の棄損件数を減少させる(記述項目)。
調査研究	⑦研究成果の公開	50件	職員の日ごろの研究活動及び研究成果に関する文献等の執筆件数、研修会及び研究集会での発表件数
情報発信	⑧事業情報の発信	460件	定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数
施設運営等	⑨観覧料及び事業等収入(図書館は除く)	—	—
	⑩施設点検	図書館利用に障がいのある方に配慮する。	誰もが等しく利用できる図書館を目指す(記述項目)。
	⑪自己研鑽及び他館の研究	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなどの専門的能力の向上	スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数(記述項目)

(イ) 川崎図書館の個別評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
資料収集・ 整備	① 社史等の収集	483件	社史と逐次刊行物の新規寄贈数
	② 破損等資料の修理件数	100.0%	書き込み、切り取りや汚破損などを発見した資料のうち修理したものの割合
資料・ 情報の提供	③ レファレンスサービス	4,300件	カウンターでの口頭、電話、メール、文書によるレファレンス件数 (県機関、県立学校等を含む)
	④ 貸出数	23,500冊	個人利用者への貸出冊数
	⑤ 書庫内資料利用数	35,000冊	書庫の資料を提供した冊数
	⑥ 複写枚数	100,000枚	コイン式コピー、電子ジャーナル等のプリントアウト、郵送複写等
非来館型 サービス	⑦ 電子書籍の提供 (両県立図書館共通)	4,500件	電子書籍の閲覧件数
連携・ 協力事業	⑧ 行政支援サービス	570件	県機関、県試験研究機関や高校図書館等への資料提供件数
	⑨ 県内市町村図書館等への 貸出冊数	6,900冊	県内市町村図書館等への資料提供冊数
	⑩ 県外図書館等への貸出冊 数	360冊	県外図書館等への資料提供冊数
広報・ 普及活動	⑪ テーマによる資料展示回 数	90回	テーマによる資料展示を行った回数
	⑫ 視察・見学会等実施件数	60件	視察や見学会、職業体験、インターンシップを受け入れた件数
	⑬ 各団体・機関への広報実 施件数	65件	産業団体や外部機関等へ出向くなど川崎図書館を広報した、あるいは該当団体・機関の持つ広報手段を活用した広報件数
図書館運営 の条件整備	⑭ 自己研鑽及び他館の 研究	390人	スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数

※両県立図書館とは、県立図書館と県立川崎図書館を意味する。

5 令和5年度 県立川崎図書館の活動評価

令和5年度の活動評価は、次のような結果となった。

※評価基準（達成度）は以下のとおりである。（小数点以下第2位を切り捨て）

達成	（目標値 ≥ 100%）	○
ほぼ達成	（目標値 ≥ 80%）	△
未達	（目標値 < 80%）	×

（1） 社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分11項目 当館は10項目）

【利用状況】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
①利用者満足度	98.0%	98.5%	100.5%	○
《課題・対応の方向》 ・「県立川崎図書館に関するアンケート」（11/13～11/18）から算出した。「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人／回答者合計の人数比。 ・引き続き、利用者に満足いただける図書館サービスの提供に努める。				
②入館者	90,000人	99,693人	110.7%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、来館利用の促進に繋がるような図書館運営に努める。				
③教育・普及事業への参加者	1,400人	876人	62.5%	×
《課題・対応の方向》 ・利用者ニーズも模索しながら、講座や展示の適切な実施に努める。				
④インターネットアクセス （両県立図書館共通）	1,249,000件	1,301,215件	104.1%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、ホームページにおいて魅力的なコンテンツを作成し、適宜更新していく。				

【資料・収蔵品】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑤活用 （展示または各種メディア等で紹介した資料点数）	2,000点	1,649点	82.4%	△
《課題・対応の方向》 ・展示の適切な企画、実施に努めるとともに、ホームページ等での資料紹介等を適切に行う。				
⑥維持管理	資料の棄損を防止する。	資料の棄損防止に努めた。	/	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、職員・利用者による資料棄損の予防に努める。				

【調査研究】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦研究成果の公開 (発表・印刷物等)	50件	23件	46.0%	×
《課題・対応の方向》 ・文献執筆や研修講師などによる研究成果の発表について、職員の適切な参加を促すよう努める。				

【情報発信】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧事業情報の発信 (定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数)	380件	416件	109.4%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、効果的な情報発信方法を模索しつつ、着実な情報発信に努める。				

【施設運営等】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑨観覧料及び事業等収入	図書館は対象外			
⑩施設点検 (誰もが等しく利用できる図書館を目指す)	図書館利用に障がいのある人々へ配慮する。	図書館利用に障がいのある人々へ配慮した。		○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、図書館利用に障がいのある人々が少しでも利用しやすくなるよう努める。				
⑪自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数 個別項目⑭参照)	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなどの専門的能力の向上	目標とする研修や講座の参加者延人数に達しなかった。		△
《課題・対応の方向》 ・職員が館内・館外の多様な研修やセミナー等を受講し、専門的能力を着実に養成するとともに、他図書館などの見学にも参加し、新しい知識やスキルの向上に努める。				

(2) 個別項目 (6区分14項目)

【資料収集・整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
①社史等の収集 (社史と逐次刊行物の新規寄贈数)	564件	348件	61.7%	×
《課題・対応の方向》 ・刊行情報に注意し、的確な寄贈依頼を行うなど、速やかな収集・提供に努める。				
②破損等資料の修理件数 (修理件数/破損等件数)	100.0%	100.0% (1,435件/ 1,435件)	100.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、書き込み、切り取りや汚破損等の棄損発見に留意し、資料の的確な修理や保存に努める。				

【資料・情報の提供】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
③レファレンスサービス (カウンターでの口頭、電話、メール、 文書によるレファレンス件数 (県機関、県立学校等を含む))	4,100件	4,209件	102.6%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、レファレンスサービスの周知を図り、利用促進に努める。				
④貸出数 (個人利用者への貸出冊数)	27,000件	21,344件	79.0%	×
《課題・対応の方向》 ・リクエスト等に的確に対応するとともに、貸出サービスの周知を図り、適切な利用促進に努める。				
⑤書庫内資料利用数 (書庫の資料を提供した件数)	35,000件	27,718件	79.1%	×
《課題・対応の方向》 ・書庫内資料の周知を図り、所蔵資料のデータ整備を確実に進めるとともに、所蔵調査等に的確に対応し、適切に提供できるよう努める。				
⑥複写枚数 (コイン式コピー、電子ジャーナル等 のプリントアウト、郵送複写等)	125,000枚	88,131枚	70.5%	×
《課題・対応の方向》 ・所蔵資料の周知を図り、データ整備を確実に進めるとともに、所蔵調査等に的確に対応し、適切に資料提供できるよう努める。				

【非来館型サービス】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦電子書籍の提供 (両県立図書館共通 電子書籍の閲覧件数)	5,900件	4,209件	71.3%	×
《課題・対応の方向》 ・県立図書館とともに、電子書籍の充実を図り、効果的な広報を実施するなど利用促進に努める。				

【連携・協力事業】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧行政支援サービス (県機関、県試験研究機関や高校図書館等への資料提供冊数等)	570件	293件	51.4%	×
《課題・対応の方向》 ・県立図書館とともに、各県機関や高校図書館等に効果的な広報を実施し、利用促進に努める。				
⑨県内市町村図書館等への貸出冊数	6,500冊	6,582冊	101.2%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、県立図書館と協力したKL-NETによる相互貸借等の推進を図る。				
⑩県外図書館等への貸出冊数	360冊	210件	58.3%	×
《課題・対応の方向》 ・魅力的なものづくり技術に関する資料等の収集・整備を図り、さらに周知や適切な提供に努める。				

【広報・普及活動】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑪テーマによる資料展示回数	90回	90回	100.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、当館所蔵資料を活用した展示について、「ものづくりギャラリー」を中心に、館内各所で適切に開催する。				
⑫視察・見学会等実施件数 (視察や見学会、職業体験、インターンシップを受け入れた件数)	60件	57件	95.0%	△
《課題・対応の方向》 ・視察・見学会、職業体験等の希望に著実に対応するよう努めるとともに、関連機関等へ見学会などの実施を働きかける。				

⑬各団体・機関への広報実施件数 (産業団体や外部機関等へ出向くなど、川崎図書館を広報した、あるいは該当団体・機関の持つ広報手段を活用した広報件数)	65件	57件	87.6%	△
《課題・対応の方向》 ・適切な手段による当館の案内や催事の周知などを図り、該当団体等の持つ広報手段を通じた効果的な広報を積極的に行うよう努める。				

【図書館運営の条件整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑭自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数)	390人	381人	97.6%	△
《課題・対応の方向》 ・館内・館外における多様な研修やセミナー、見学などへ職員が適切に参加できるよう努める。				

6 令和6年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画

神奈川の文化と産業の発展、社会づくりへの寄与	(1) 資料収集・整備	ア 資料・情報の収集	(ア) 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物(雑誌、年鑑・年報、論文集等)の収集	ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の最新の知見が書かれた専門図書、基本概説書、事典等の参考図書を収集する。逐次刊行物においては、信頼性の高い最新情報や研究論文を収録する学会誌、協会誌、講演論文集等を収集する。官公庁発行の報告書、企業技報、理工系大学の紀要等を収集する。
			(イ) 特許関連資料、規格資料等の収集	特許公報関係の解説書及び活用事例に関する図書類、国内外の規格類及び解説書を収集する。
			(ウ) 会社史、経済団体史等の収集	会社史・経済団体史を、寄贈等により積極的に収集し、社史コレクションの充実を努める。
		イ 資料・情報の整備	(エ) 産業安全・労働衛生ビデオ&DVD等の収集	会社・事業所の研修用として、産業安全・労働衛生に関するビデオ・DVDを収集する。
			(ア) 資料の整理、点検、修理	資料点検、修理等を行い、常に適正な状態で資料を利用提供できるよう管理する。
			(イ) 資料データの整備	当館の所蔵データベースのKL-NETに加え、CiNii Booksへのデータ登録や各種目録類を整備・公開し、多様な検索手段を提供する。
	ウ 書庫・収蔵庫の運用	(ウ) 神奈川関係記事・文献情報の作成・整備	県立図書館と共同して、神奈川県に関する新聞記事・雑誌論文等を収集し、その索引データをKL-NETに入力して、県民が地域情報を迅速かつ広範に検索・入手できる環境を整える。	
		(ア) KSP書庫及び相模原書庫の運用・管理	随時書庫入れ作業などを行い、効率的でわかりやすい書架を維持するように努める。KSP書庫(主に雑誌)及び相模原書庫(図書)に保管する資料について、適切な維持管理を行う。	
		(イ) 野庭収蔵庫(科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー)の運用・管理	神奈川県資料室研究会加盟企業等から寄贈された科学技術系外国語雑誌を、横浜市内の野庭収蔵庫に保管し、データを公開して、利用に供する。	
		(ア) レファレンスサービス	ものづくり技術分野に関する科学技術資料及び会社史資料に関する様々な質問について、迅速かつ確かな対応を行う。特に、規格や特許については当館独自の分野であるので、市町村職員対象の研修会やレファレンス協同データベースへの登録で、当館のノウハウの伝達にも努める。	
	(2) 資料・情報の提供	ア 基本的サービス	(イ) 閲覧、登録、貸出(視聴覚資料含む)、リクエストサービス	カウンターに司書職員を配置し、的確な利用者サービスを実施する。研究者や技術者、ビジネスユースの利用者のために、雑誌のバックナンバー等の大量出納にも応じ、効率的な調査研究を支援する。産業安全・労働衛生ビデオ&DVDは団体貸出を行う。
			(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス	館内で図書や雑誌の文献複写ができるようコピー機を設置し、郵送による文献の複写や自宅での図書の受け取り等、開館時間内に来館できない県民にも広くサービスを行う。
			(エ) 電子ジャーナル、オンラインデータベースサービス、電子書籍	電子情報通信学会技術研究報告等の電子ジャーナルを提供するとともに、JDreamIII(科学技術に関する論文検索)、JP-NET(特許検索)等のデータベースや電子書籍を提供する。
			(オ) Wi-Fi利用サービス	Wi-Fiを導入し、利用者が所有する端末からインターネット接続ができる環境を提供する。
			(カ) 障がい者サービス	全ての方が図書館において必要な情報が入手できるように、拡大読書器の提供や筆談対応、図書の郵送貸出サービスを行う。
		イ 特色あるサービス	(ア) ものづくり情報の提供	ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の専門的な図書・雑誌を提供し、科学技術情報の普及に努める。
			(イ) 知的財産関係情報等の提供	特許関係の図書・雑誌を提供する。専門家による相談事業を行い、「知財スポット」を活用した知的財産情報の普及に努める。
			(ウ) 社史情報の提供	約22,000冊の会社史を所蔵している。社史関連講演会や社史フェアの開催、社史の魅力の広報等多面的なサービスを展開する。
			(エ) ものづくり入門資料等の提供	ものづくり技術に関する入門的な資料を「ものづくり入門コーナー」に集約して提供し、一般の利用者のものづくり技術への理解や関心を促進する。
			(ア) 図書館情報ネットワークの推進	県立図書館と協力して、KL-NETを通じた県内市町村立図書館の資料の相互利用を図り、県民サービス向上につなげる。
(3) 連携・協力事業	ア 連携・協力	(イ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進	都道府県立図書館等との相互利用を推進し、利用者の利便性の向上を図る。	
		(ウ) 県立高校、県内大学図書館等との連携、協力の推進	県立高校の図書館や県内の大学図書館等へ資料を提供するなど、教育現場における学習や調査研究のための連携、協力を推進する。	
		(エ) 行政支援の推進	各行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービス等を行い、県職員の業務遂行、研究活動を支援する。	
	イ 関係団体等業務	(ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整	県内企業、大学、研究機関のライブラリーや知的財産部門で構成されている館種を超えたネットワークである神奈川県資料室研究会で、例会の開催や、ニュースと年報の発行をサポートする。	
		(イ) 知的財産関係団体等との連携	知的財産の創造、保護及び活用を推進するとともに、中小企業等の知的財産戦略策定の支援をするために、県内知的財産関係機関と相互に連携を強化する。弁理士会等との連携により、相談、交流、セミナー事業を行う。また、技術士会、中小企業診断士会等との連携に取り組む。	
		(ア) 展示等の実施	当館所蔵資料と自作パネルや他からの借用物と組み合わせ、時宜に合うテーマを選び、当館の魅力発信の場として「ものづくりギャラリー」や協力機関等での展示を開催する。また、館外でのPRにも努める。	
(4) 広報・普及活動	ア 広報活動	(イ) 図書館実習生等の受入、見学者への対応	図書館を身近に感じ、理解を深める手段として、大学生インターンシップや司書資格習得のための図書館実習を受け入れ、将来の人材育成に貢献する。また、高校生・中学生の職業体験や見学希望を受け入れる。	
		(ウ) ホームページの運営	展示や講演会等のイベントの案内や報告、図書館での出来事など、有益な広報の手段としてホームページを活用する。「司書の番(ブログ風の記事)」、県立図書館の公式X(旧Twitter)など、生き生きとした情報発信に努める。	
		(ア) 展示関連イベントの開催	展示を当館の広報の中心と位置づけ、展示に合わせて講演会等も開催し、重層的な「知」の機会を提供する。	
	イ 講座等開催事業	(イ) ものづくりカフェの開催	気軽に科学技術について語り合える場として、ものづくりカフェの今後のあり方について検討する。	
		(ウ) 各種イベントの開催	資料の調べ方講座、図書館ガイダンス、子ども科学実験室、大人の理科教室等魅力的なイベントを開催する。	
		(ア) 館報「ものづくり文化」の刊行	当館の館報「ものづくり文化」を刊行し、来館者、県内公共・大学図書館や全国の都道府県立図書館、関係機関等に配布する。	
(5) 図書館運営の条件整備	ウ 刊行物の発行	(イ) 定期刊行物	社史情報紙「社楽」を発行する。また、当館の事業等をまとめた「要覧」を発行する。	
		(ア) 図書館アドバイザー・レクチャー制度の運営	両県立図書館長が有識者からアドバイスを受けることを目的として、県立図書館が企画、実施しているが、両館共通のテーマ設定、ふさわしい講師の選定などに協力し、職員の研修機会としても機能させる。	
		(イ) 活動評価の実施、公表	図書館活動について「計画→実施→評価→見直し」の持続的な運営改善を図ることを目的として活動評価を行い、その結果を公表する。社会教育施設評価書の全館共通評価項目及び当館の個別評価項目の2体系で活動評価を行う。	
		(ウ) 利用調査の実施	図書館の利用実態を把握するために、県立図書館と共同して来館者対象にアンケート調査を実施し、その結果を分析して、今後のサービスに活かす。	
		(エ) 職員の研修	館内整理日を活用して、司書職員の資質向上のための研修機会を設ける。神奈川県図書館協会の研修をはじめ、各種研修に積極的に参加し、その成果を共有して、全職員のレベルアップにつなげ、利用者の満足度向上を図る。	
	ア 運営状況の点検・評価	(オ) 職員の研究と発信	情報の専門職として司書職員のスキルアップの活動を支援し、研修講師、図書館の紀要や学会誌への論文の投稿など、研究成果の発表・発信に結実させ、川崎図書館職員全体の能力向上を図る。	
		イ 施設の整備	(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備	図書館として必要な施設の維持管理を行い、施設設備等の不具合が生じた際には適宜原状復帰を図るとともに、利用者に快適な施設環境を提供し、利用促進のための諸施設の整備を行う。当館の業務の運用に係る効率的な経費の執行に努める。
			(イ) 環境マネジメントシステムの推進	環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮に努める。
		ウ 保存機能強化の検討	(ア) 県立図書館等との更なる連携	県立図書館等と連携し、資料利活用のための保存機能強化の検討を進める。

7 予算・決算

(1) 令和6年度当初予算

(単位：円)

事業名	細事業名	予算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	197,134,000	賃借料、共益費 178,892,000	
	財源内訳	雑入	1,105,000	複写サービス
		立替収入	20,000	複写機電気料金立替収入
		繰入金	1,000,000	財政基金繰入金
		一般財源	195,009,000	
	図書館事業費		21,516,000	高度先端技術情報・専門資料の提供 21,182,000
				講演会等の実施・連携 2,334,000
		計	21,516,000	
	財源内訳	雑入	0	
		立替収入	0	
		繰入金	500,000	まなびや基金繰入金
		一般財源	21,016,000	
	財源内訳	雑入	1,105,000	
		立替収入	20,000	
繰入金		1,500,000		
一般財源		216,025,000		

(2) 令和5年度決算見込

(単位：円)

事業名	細事業名	決算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	184,677,449	賃借料、共益費 170,572,174	
	財源内訳	雑入	240,660	複写サービス等
		立替収入	16,568	複写機電気料金立替収入
		一般財源	184,420,221	
		計	184,677,449	
	図書館事業費		18,532,058	資料・情報整備費 16,488,123
				産業資料充実費 1,098,667
				講演会及び調査相談事業費 945,268
	財源内訳	雑入	0	
		立替収入	0	
		一般財源	18,532,058	
		計	18,532,058	
	財源内訳	雑入	240,660	
		立替収入	16,568	
一般財源		202,952,279		
計		203,209,507		

(参考) 川崎図書館費の推移

(単位：円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	R5/R元
当初予算額	維持運営費	18,395,000	205,917,000	181,247,000	182,728,000	192,247,000	1045.1%
	図書館事業費	20,299,000	20,299,000	23,802,000	18,142,000	18,726,000	92.3%
	整備事業費	379,909,000	138,956,000	-	-	-	-
	計	418,603,000	365,172,000	205,049,000	200,870,000	210,973,000	50.4%
決算額	維持運営費	13,546,636	201,308,806	178,989,352	178,110,236	184,677,449	1363.3%
	図書館事業費	19,672,253	19,657,077	23,577,032	18,068,885	18,532,058	94.2%
	整備事業費	233,869,853	122,217,900	-	-	-	-
	計	267,088,742	343,183,783	202,566,384	196,179,121	203,209,507	76.1%

8 令和5年度 事業の概況

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

開館、催事

令和5年度においては、5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことに伴い、「新型コロナウイルス感染症対策の神奈川県対処方針」、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針」及び「県立の図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策ガイドライン」が廃止になったため、「県立川崎図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策マニュアル」も廃止とした。また、サーマルカメラを撤去し、館内における座席の制限を終了。5月18日には、ディスカッションルームの利用も再開し、図書館の運営はほぼ平常化した。

ただし、カウンターや閲覧室内のテーブル席に設置したアクリルパネル、キャレル席の仕切り板は引き続き設置したままとし、消毒液も利用者が自由に使用できるように継続して設置することとした。

催事については、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら前年度より参加人数を増やしての会場開催を実施し、一部オンラインでも開催した。

(2) 資料収集・整備

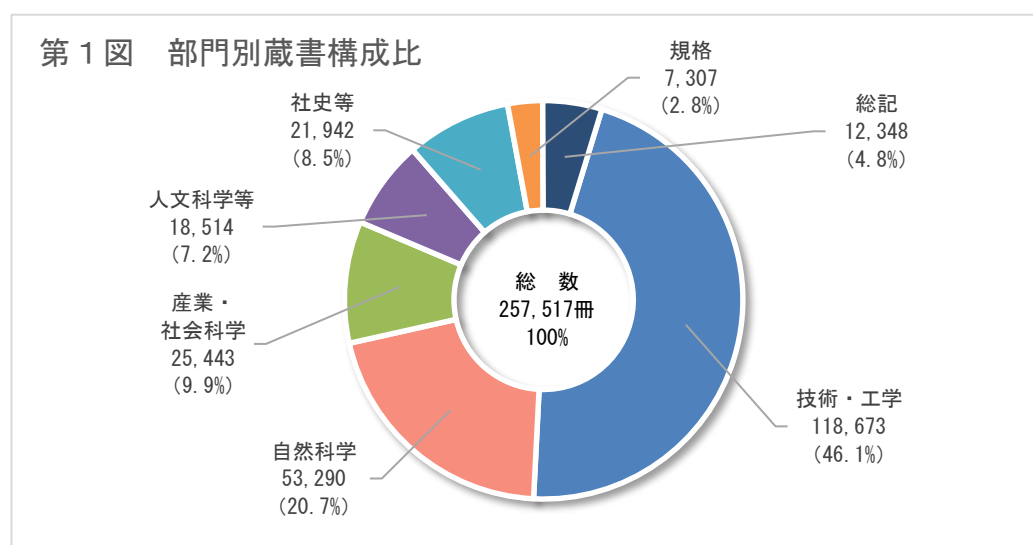
ア 資料・情報の収集

(ア) 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物（雑誌、年鑑・年報、論文集等）の収集

a 図書

令和6年3月末現在の蔵書冊数は257,517冊（前年度260,753冊）で、前年度に比べて3,236冊の減少となっている。減少した理由は主に野庭収蔵庫で所蔵している県立図書館との重複本（約4,500冊）を除籍したためである。また、新たに受け入れた1,404冊のうち715冊が寄贈によるものとなっている。

図書の部門別蔵書構成比は第1図のとおりである。（p.34 事業統計第1表 参照）



b 逐次刊行物類

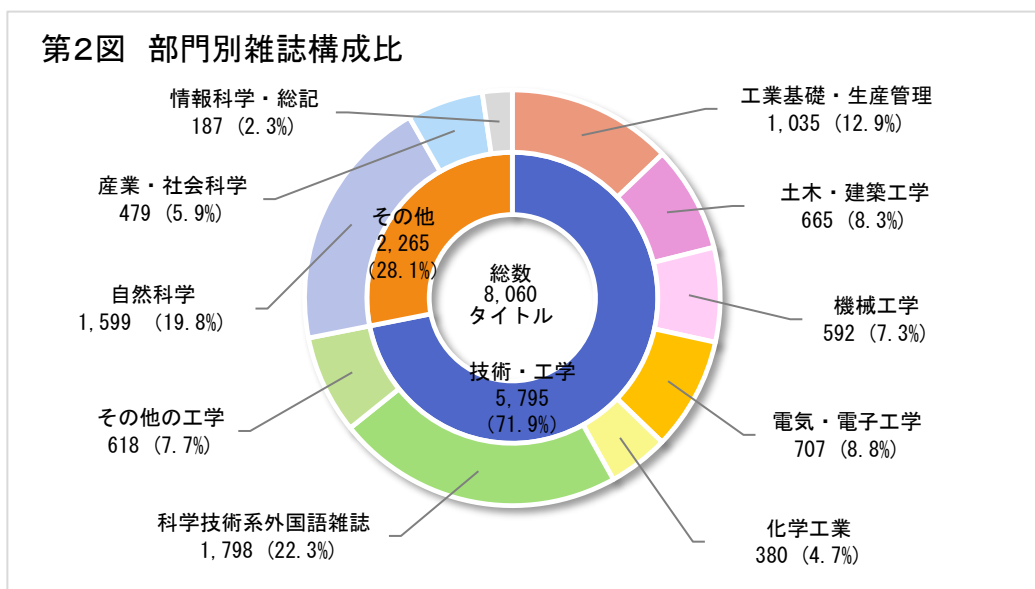
主に学・協会誌、大学研究報告書、官公庁・企業の発行する科学技術専門雑誌を収集しており、令和6年3月末現在の雑誌の所蔵数は8,060タイトル（前年度8,063タイトル）となっている。この中には、継続的に受け入れている1,084タイトルのほか、購入あるいは寄贈の中止、休・廃刊、誌名変更等による非継続誌が含まれている。

令和5年度は、新たに5タイトルを受け入れ、短期の保存期間が満了した非継続寄贈雑誌など計8タイトルを払い出した。

所蔵数のうち外国語雑誌は2,192タイトル（前年度2,192タイトル）で、その内訳は、購入2タイトル、野庭収蔵庫保管分（デポジット・ライブラリー）1,798タイトル、（公社）日本化学会等からの寄贈389タイトルなどとなっている。

雑誌の部門別構成比は第2図のとおりである。

新聞は33タイトル（前年度33タイトル）で、そのうち継続受入紙は、購入が一般紙を含めた6タイトル、寄贈による継続収集は21タイトルとなっている。（p.34 事業統計第2表 参照）



(イ) 特許関連資料、規格資料等の収集

特許関係の解説書・活用事例に関する図書等の収集を行った。

規格資料については「所蔵規格資料類リスト」を図書館ホームページに掲載していたが、令和5年12月25日からは、今まで複数のリストに散在していた同一の規格番号を一括して検索できる「所蔵規格検索」を公開し、利用者の利便性を向上させた。

主な所蔵資料は次表のとおり。

主な規格資料の保有状況

区分		保有状況
国際・海外規格	ASTM（米国材料試験協会規格）	2022年版 旧年版もあり
	DIN（ドイツ連邦規格）	1971年版～2012年版のハンドブックの一部（英訳版も一部所蔵）

国内規格	JIS（日本産業規格）	全分野（A～Z）所蔵 毎月差し替えを行っている。廃止JISは1996年以降所蔵。JISハンドブック、英訳JISハンドブック（2023年刊行分が最新）も所蔵
	JEC（電気学会規格）	大部分所蔵（廃止も一部所蔵）
	JEM（日本電気工業会規格）	追録あり
	JASO（自動車技術会規格）	2021年版が最新

（ウ） 会社史、経済団体史等の収集

全国有数のコレクションであり、積極的に収集を行った。その大半は、発行元などから寄贈であり、寄贈冊数等は342冊となった。購入による収集は6冊で、令和5年度の受入数は348冊（前年度592冊）、所蔵総数は21,942冊（前年度21,607冊）となった。（p.34 事業統計第1表 参照）

（エ） 産業安全・労働衛生ビデオ&DVD等の収集

令和6年3月末の視聴覚資料の所蔵総数は586点（前年度586点）となっている。その内訳は、産業安全・労働衛生等の団体貸出用357点（ビデオテープ274点、DVD83点）、個人貸出用がビデオ・DVDを合わせて229点となっている。（p.34 事業統計第3表ア 参照）

（オ） マイクロフィルムの収集

化学工業日報社より「化学工業日報」昭和23年1月～平成13年12月分のマイクロフィルム467点の寄贈があった。（p.34 事業統計第3表ウ 参照）

イ 資料・情報の整備

（ア） 資料の整理、点検、修理

令和5年度は、令和5年4月1日から4月7日にかけて資料点検を行った。実施した作業はいずれもKSP内に配架した図書（公開・書庫）のICタグによる点検、書庫内雑誌一部の点検と移動、JISファイルの整理などであった。

破損等で修理が必要となった資料については随時対応し、令和5年度は1,435件（前年度1,143件）の修理を行った。

（イ） 資料データの整備

購入・寄贈等により新規に受け入れた資料の書誌・所蔵データを速やかに作成し、OPAC及びホームページ上に公開する所蔵目録により利用者に提供している。「雑誌架最新号公開リスト」「科学技術系外国語雑誌目録」「産業安全・労働衛生ビデオ&DVD」等のリストを公開しているほか、「所蔵規格検索」のデータの更新を逐次行っている。

（ウ） 神奈川県関係記事・文献情報の作成・整備

県立図書館と分担して、神奈川県に関する文献（新聞記事及び図書・雑誌論文等）の主な情報を入力し、利用者に提供している。令和5年度は、神奈川県に関する文献330件（県内新聞記事47件、県内文献283件）の新規データ入力を行った（前年度512件）。

(エ) 神奈川県まなびや基金の活用

神奈川県まなびや基金（事業提案型）の制度を活用し「入門的な理工系図書の購入」のために寄附を募った。「ものづくり入門コーナー」の理工系の入門的な図書等を充実させリニューアルするとともに、フェアを開催することで青少年が科学技術に関心を持つ機会を増やすことを目標とした。募集金額は50万円としていたが、複数の新聞に取り上げられたこともあり、約59万円の寄附があった（募集期間：令和5年11月11日から令和6年3月31日まで）。令和6年度に図書の購入・公開等を実施する。

ウ 書庫・収蔵庫の運用

(ア) KSP 書庫及び相模原書庫の運用・管理

移転を機に、旧川崎図書館に所蔵していた資料はKSPと相模原書庫の2カ所に保管することとなった。このうちKSP書庫には、雑誌6,038タイトル、新聞、備品図書や書庫内社史等の図書約28,000冊を配架している。相模原書庫には約139,000冊の図書を箱保管している。

なお、令和5年度は、書庫内のスペース確保等の理由により、KSP書庫の労働組合史などの図書及び野庭収蔵庫の図書約3,000冊を相模原書庫に移している。

相模原書庫からの図書の配送は、原則として当日12時までに依頼されたものを当日16時までに提供する体制を組んでいる。令和5年度の利用冊数は、3,788冊（前年度4,031冊）であった。（p.36 事業統計第7表のイ 参照）

(イ) 野庭収蔵庫（科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー）の運用・管理

県内企業資料室等との協力により、デポジット・ライブラリーを設置し、科学技術系外国語雑誌を保存・活用している。ただし、令和3年度中からは収蔵スペースの都合により寄贈雑誌の受け入れを中止した。現在の所蔵数は1,798タイトル（前年度1,798タイトル）である。その他に図書約25,000冊、和雑誌224タイトルがある。

なお、図書については、令和5年度に県立図書館との重複本約4,500冊を除籍した。除籍図書については希望を募り県内の図書館の一部を譲渡した。

野庭収蔵庫の資料は宅配によりKSP内へ配送を行い、閲覧及び複写の利用に供している。平成30年9月からは、派遣職員が週2回（火・金曜）現地勤務する体制となっている。利用冊数は445冊（前年度749冊）、複写枚数は353枚（前年度527枚）だった。複写枚数のうち56.9%は外国語雑誌であった。（p.36 事業統計第7表のウ 参照）

(3) 資料・情報の提供

ア 基本的サービス

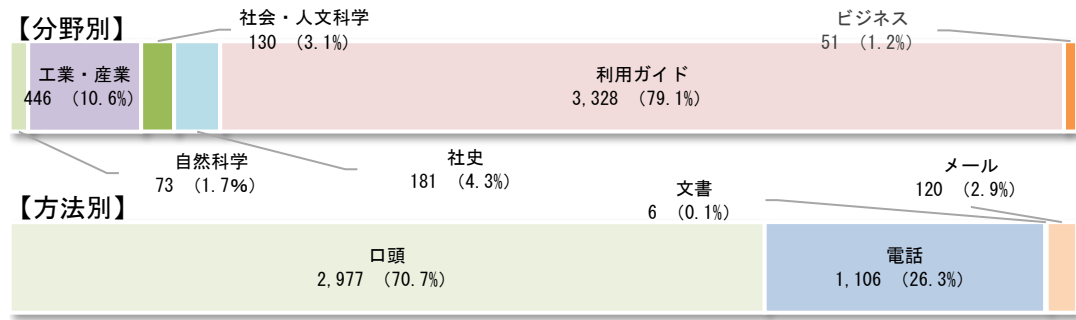
(ア) レファレンスサービス

令和5年度のレファレンス受付件数は協力レファレンス109件を含めて4,209件（前年度3,626件）であった。当館の特色である科学技術等に関するレファレンス事例については、国立国会図書館のレファレンス協同データベースシステムに登録し、広く公開した。

レファレンスの分野別・方法別内訳は、第3図のとおりである。（p.35 事業統計第6表 参照）

第3図 レファレンス分野別・方法別内訳

総数 4,209 件（協レファレンス含む）



(イ) 閲覧、登録、貸出（視聴覚資料含む）、リクエストサービス

令和5年度の入館者数は99,693人（前年度78,012人）であった。（p.35 事業統計第5表参照）

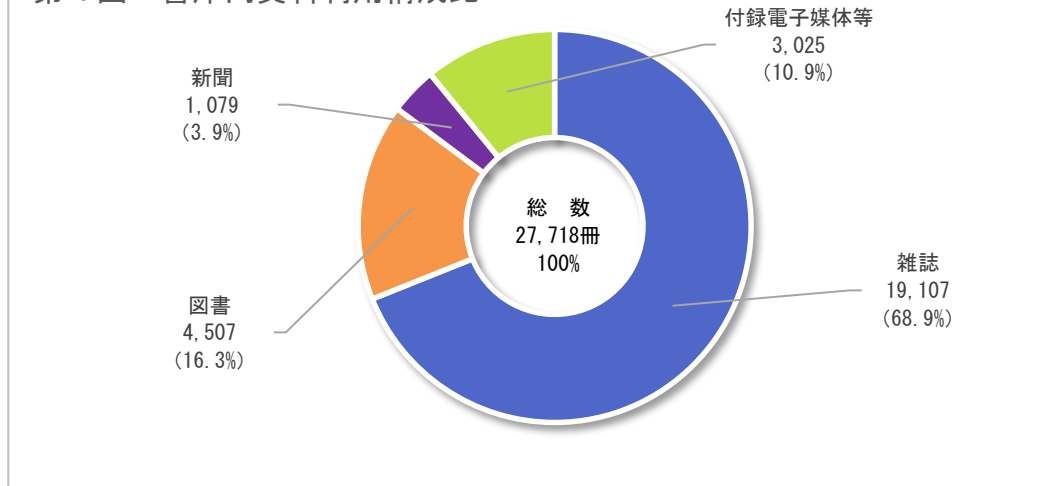
個人の新規登録者は1,049人（前年度1,208人）であった。貸出は図書20,163冊（前年度20,110冊）、視聴覚資料の個人貸出は1,181点（前年度1,171点）であった。（p.37～p.38 事業統計第9、10表、p.41 第15表のア参照）

会社・事業所などの研修等で利用される産業安全・労働衛生ビデオ&DVDについて、登録団体は61団体、貸出は85件（ビデオ17点・DVD244点）で、上映回数は606回、参加人数は11,711人となっている。（p.41 事業統計第15表のイ参照）

書庫内資料利用の総数は27,718冊（前年度34,486冊）であった。書庫内資料利用の約70%が雑誌である。書庫内資料の利用構成比は第4図のとおりである。（p.36 事業統計第7表参照）

リクエストサービス（貸出中の資料の予約や、当館未所蔵の資料を他館からの取り寄せや購入により提供するサービス）の申込みは7,606件（前年度7,420件）であった。（p.38 事業統計第11表参照）

第4図 書庫内資料利用構成比



(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス

複写サービスの総計は申込み 2,522 人（前年度 2,739 人）、複写枚数 88,131 枚（前年度 110,742 枚）であった。（p. 39 事業統計第 12 表 参照）

宅配貸出サービスは、235 冊（前年度 132 冊）であった。新型コロナウイルス感染症が落ち着き始めたため、令和 3 年度・4 年度と減少傾向にあったが再び増加している。

(エ) 電子ジャーナル、オンラインデータベースサービス、電子書籍サービス

インターネットによる電子ジャーナル（主に学術雑誌を電子化したもの）やオンラインデータベース（オンラインで文献や新聞記事、特許情報等を検索できるもの）を提供しており、その利用人数は 1,287 人（前年度 1,272 人）であった。

電子ジャーナルのうち、国内学会誌の利用者数は 629 人（前年度 676 人）であった。オンラインデータベースは「JDreamⅢ」については 53 人（前年度 60 人）、日経テレコンについては 35 人（前年度 43 人）と減少している。（p. 37 事業統計第 8 表のイ 参照）

また、オンラインデータベースの情報提供の一環として、当館の職員が講師を務めるミニレクチャーを 5 回開催した。内容は「J-PlatPat」、「JDreamⅢ」、「日経テレコン」、当館の資料検索についてで、計 82 人が受講した。

令和 4 年 6 月 1 日から県立図書館と共同で、紀伊國屋書店電子書籍閲覧サービス「KinoDen」を利用し、調査・研究に役立つ辞書・事典など 85 タイトルの電子書籍サービスの提供を開始している。令和 4 年度は 96 タイトル、令和 5 年度は 81 タイトルを追加し、177 タイトルとなった。令和 5 年度は 4,209 件の利用があった。（p. 37 事業統計第 8 表のア 参照）

(オ) Wi-Fi 利用サービス

令和元年 6 月から Wi-Fi の運用を変更し、1 度メールアドレスを登録すると 1 年間は再登録なしで利用できるようにし、令和 4 年 9 月からはカウンターでの申込みなしで Wi-Fi を利用できるようにした。令和 5 年度の Wi-Fi 接続件数は 27,622 件であった。

(カ) 障がい者サービス

平成 28 年度から（一社）全日本難聴者・中途失聴者団体連合会の使用許諾を得て「耳マーク」を掲示し、カウンターには筆談用の器具とコミュニケーションボードを設置している。

また、必要な方には拡大読書器を提供している。令和 5 年度は、拡大鏡を更新し、新たにリーディングトラッカーの提供を開始した。

令和 3 年 7 月から開始した「遠隔手話通訳サービス」については、令和 5 年度は利用がなかった。

なお、来館が困難な方のために、図書の郵送貸出サービスを行っているが、令和 5 年度は利用申込がなかった。

(キ) リユースコーナー

当館の除籍資料や収集対象外の資料の有効活用を図るため、対象となる資料がある場合、手続き不要で自由に持ち帰りできるリユースコーナーをものづくりギャラリーに設置している。

イ 特色あるサービス

(ア) ものづくり情報の提供

ものづくり技術に関する最新の知見の資料等の整備・提供に努めた。また、講演会・イベントの開催、ものづくりギャラリー等での展示を行った。(p.28 令和5年度 講座等実施状況 参照)

(イ) 知的財産関係情報等の提供

知的財産関係情報等の提供の一環として、電子ジャーナル・データベース席の端末で、特許情報データベース「JP-NET」や「J-PlatPat」、米国特許商標庁、欧州特許庁のサイトによる特許情報の提供を行った。

日本弁理士会関東会神奈川委員会と KISTEC ((地独) 神奈川県立産業技術総合研究所) と共催して「図書館で学ぶ知的財産セミナー (全3回)」をカンファレンスルームで開催し、第1回は20人、第2回は25人、第3回は31人が受講した。

KISTEC 主催による「知財セミナー」は、令和5年度は「KSP ノウハウカレッジ」の一環として開催され、23人が参加した。

関東経済産業局の「神奈川県知的財産セミナー」は、関東経済産業局がセミナーの開催方法を変更したため、令和5年度は開催されなかった。

相談事業としては、「知財総合支援相談」は月2回、INPIT ((独) 工業所有権情報・研修館) の神奈川県知財総合支援窓口の協力を得て、16件(前年度11件)の相談があった。「創業・経営相談」は月2回、(特非) 日本技術マネジメント協会の協力を得て、10件(前年度11件)の相談があった。平成30年度から開始した「知的財産相談」は月2回、日本弁理士会関東会神奈川委員会の協力を得て、11件(前年度9件)の相談があった。

さらに、日本弁理士会関東会神奈川委員会と連携して「企業関係者と弁理士の知財研究会」(全6回)を隔月で奇数月に開催し、合計38人が参加した。

KSP や KISTEC との連携によるコーナーを設け、KSP の刊行物や KISTEC の教育講座等の紹介とともに関連図書の展示を行った。

令和4年度に INPIT 神奈川県知財総合支援窓口と KISTEC と共催して開催した「営業秘密セミナー」(全2回)は、令和5年度は「神奈川県立川崎図書館 知的財産活用のポイントセミナー」(全2回)という名称で開催し、合計42人が参加した。

(ウ) 社史情報の提供

全国有数の社史コレクションを公開し、利用に供し、その活用を図った。

社史関連の催事は、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年3月に開催が中止となった「講演会・企業の足跡を知る第4回」を6月に開催し、25人が参加した。令和5年度も社史編纂セミナーは開催できなかった。

社史フェアについては、12月6日から12月9日まで、令和4年に刊行された235点の社史に解説を付けて展示する「社史フェア2023」をカンファレンスルームで開催し、延べ181人の来場があった。

社史コレクションの活用のため、社史の使い方や社史情報などを紹介する「社楽」を5回刊行した。(p.25 (5)ウ(イ) 定期刊行物 参照)

ホームページでは、特色のある社史を写真と文章で紹介する「すごい社史」で5件9点の社史を取り上げた。

(エ) **ものづくり入門資料等の提供**

子どもから大人まで利用できるものづくりと関連した入門的な資料を整備し提供した。ものづくりに関連のある漫画と合わせて約2,400冊を提供している。

(4) **連携・協力事業**

ア 連携・協力

(ア) **図書館情報ネットワークの推進**

県立図書館を通じた県内公共図書館への資料提供数は6,484冊(前年度5,693冊)であった。内訳は県立図書館2,610冊、市町村立図書館1,456冊、横浜西口カウンターに2,418冊である。(p.41 事業統計第16表 参照)

また、県立図書館から3,622冊、県内市町村立図書館から442冊借り受け、利用者に提供した。(p.38 事業統計第11表 参照)

県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業の中で、川崎図書館の特色ある資料とサービスについて当館職員が担当し、研修を実施した。(p.27(6)ア(オ)職員の研究と発信 参照)

(イ) **都道府県立図書館等との相互利用の推進**

県外の公共図書館等に205冊を貸し出し(前年度295冊)、30冊を借り受けた(前年度51冊)。科学技術・工学系の専門書や社史など当館の特色ある資料が全国で広く利用された。(p.41 事業統計第16表、p.38 第11表 参照)

(ウ) **県立高校、県内大学図書館等との連携、協力の推進**

「県立の図書館と県立高等学校との連携・協力事業」を利用する県立高等学校への資料提供やレファレンスサービスに努めた。貸出冊数は66冊(前年度85冊)であった。

県内大学図書館には県立図書館協力車により42冊(前年度19冊)を貸し出した。(p.41 事業統計第16表 参照)

イ 関係団体等業務

(ア) **神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整**

神奈川県資料室研究会事務局として、書面による総会を5月に開催した。また、理事会(9回)をオンラインで開催し、月例会(6回)については、講演会5回をオンラインで開催し、見学会を1回開催した。また、10月24日・25日に開催された図書館総合展にブースを出展して271人が来場、11月例会を図書館総合展のフォーラムとしてオンラインで開催して196人が参加した。

刊行物は、「神資研ニュース」年5回、年報「神資研 第57号/特集：図書館総合展の過去・現在・未来と神資研」を発行した。令和5年度末の会員数は、正会員69、賛助会員11、個人会員20、合計100会員であった。当館では、館長が会長を務め、理事1人(事業部長)、事務局を企画情報課が担当している。

(イ) **知的財産関係団体等との連携**

県産業振興課が主催する「知的財産関係機関連絡調整会議」が1回、INPIT神奈川県知財総合支援窓口が主催する「INPIT神奈川県知財総合支援窓口事業に係る中小企業等支援機関連携会議」が2回開催され、関係機関との情報交換等を行った。

(5) 広報・普及活動

ア 広報活動

(ア) 展示等の実施

a ものづくりギャラリーでの展示

当館所蔵資料の紹介と利用の促進を目的として、ものづくりギャラリーで展示を2回開催した。(p.28 令和5年度 講座等実施状況 参照)

b メディア等での広報

テレビ、ラジオ、雑誌等のメディアで当館の資料やサービス等が取り上げられた。

(イ) 図書館実習生等の受入、見学者への対応

a 図書館実習

大学で図書館司書資格の取得を目指す学生を実習生として受け入れた。

学校名	受入期間	人数
相模女子大学	9月6日～15日(8日間)	1人

b インターンシップ

県の事業として、大学生のインターンシップを受け入れた。

学校名	受入期間	人数
東京学芸大学	8月16日～17日	1人
日本大学	(2日間)	1人

c 体験学習等

県の事業として、高校生のジョブシャドウイングを2名受け入れることになっていたが、実施にはいたらなかった。

中学校からの依頼を受け、体験学習等の生徒を受け入れた。

学校名	受入日	人数
川崎市立川中島中学校	2月2日	2人

d 社会体験研修

県立高校の教員の研修を受け入れている。

令和5年度は5年経験者研修社会体験研修として、県立荏田高等学校教諭1人、県立川和高等学校教諭1人を受け入れた(8月17日～18日の2日間)。

また、教員の夏期休業中の研修として「教員のための県立川崎図書館活用講座」を開催し、20人が参加した(8月17日)。

e 見学者の状況

県の事業として、高校生の見学を1人受け入れた(9月2日)。

令和5年度は、上記高校生の見学も含め、合計で51件、131人の見学者を受け入れた。

(ウ) ホームページの運営

ホームページに展示や講演会のイベントの案内や報告、「ものづくりのための新着情報」、「司書の出番」、神奈川県立の図書館公式X(旧Twitter)等に情報を掲載し広報に努めた。

イ 講座等開催事業 (p.28 令和5年度 講座等実施状況 参照)

(ア) 展示関連イベントの開催

ものづくりギャラリーでの展示のテーマに関連した講演会を1回開催した。

(イ) ものづくりカフェの開催

令和5年度は実施しなかった。

(ウ) 各種イベントの開催

a 文字・活字文化の日関連イベント

文字・活字文化の日を記念し、「近代活字資料を読み取る OCR の概要と活用事例」を高津市民館で開催した。

b 電子ジャーナル・オンラインデータベース関連

電子書籍、J-PlatPat、日経テレコン、JDreamⅢ等についてのミニレクチャーをオンラインで4回、閲覧室内で1回開催し、電子ジャーナルやオンラインデータベースの周知や利活用の促進に努めた。

また、県立多摩高等学校の1学年の生徒向けに、探究授業の一環として、JDreamⅢの使い方や資料の探し方についてのミニレクチャーをオンラインで行った。

c 実験教室の開催

子ども向けの「子ども科学実験室」を(特非)NPOブルーアースの協力を得て夏休み(8月)に開催した。

社会人や学び直しに興味のある方を対象とした「大人の理科教室」を(特非)NPOブルーアースの協力を得て1月に開催した。

ウ 刊行物

(ア) 館報「ものづくり文化」

平成30年度より誌名を「科学EYES」から「ものづくり文化」に改めて年1回発行している。特集テーマを「ものづくりと食～フードテック～」として、石川伸一氏(宮城大学食産業学群教授)、臼井一茂氏(神奈川県水産技術センター企画研究部企画指導課利用加工担当)に特集論文の執筆を依頼したほか、ものづくりに関係する方々に寄稿していただいた。当館職員も執筆した。

(イ) 定期刊行物

a 社史情報を紹介する広報紙「社楽」を5回発行した。

b 当館の事業等の報告をまとめた「令和5年度要覧」を発行した。

刊行物一覧

名称	規格	ページ数	部数	発行年月
館報「ものづくり文化」 第65巻「特集 ものづくりと食～フードテック～」	A4	14	1,000	R6.3

社楽(社史情報紙)				
Vol.101 『『かまぼこ』意外史』	A 4	各 2	各 100	R 5.5
Vol.102 「社史で読む南極物語」				R 5.9
Vol.103 「続 社史で読む南極物語」				R 5.12
Vol.104 「社史フェア 2003 開催報告」				R 6.1
Vol.105 「外国語版を調べる」				R 6.3
令和5年度要覧	A 4	45	48	R 5.6

(6) 図書館運営の条件整備

ア 運営状況の点検・評価

(ア) 図書館アドバイザーレクチャー制度の運営

平成13年度より、県立図書館及び県立川崎図書館の長が、有識者から、図書館の経営方針や運営方法などに関し必要に応じて情報及び助言等を得ることを目的として開始した。職員の研修としても活かされている。

令和5年度はオンライン(両県立図書館をWeb会議システムでつないだ)にて開催した。

開催日	アドバイザー	テーマ
10月12日(木) 14:00~16:00	岸田 和明 氏 慶應義塾大学文学部 教授	「図書館評価の方法とその利用：国内外の状況」
3月14日(木) 10:00~12:00	湯浅 俊彦 氏 追手門学院大学国際 教養学部教授	「公共図書館における電子図書館の可能性—読書アクセシビリティの観点から」

※県立図書館との共催事業として実施

(イ) 活動評価の実施、公表

図書館活動について計画→実施→評価→見直しのサイクルを実現し、運営の継続的な改善を図ることを目的として、毎年度目標数値を掲げ、活動評価を行っている。令和5年度については、社会教育施設評価書の全館共通項目(5区分10項目)及び個別項目(6区分14項目)について目標値を設定した。評価基準は、「達成(目標値 \geq 100%)」「ほぼ達成(目標値 \geq 80%)」「未達(目標値 $<$ 80%)」としている。結果は、「達成」が10項目、「ほぼ達成」が5項目、「未達」が9項目であった。(p.9 令和5年度 県立川崎図書館の活動評価 参照)

(ウ) 利用調査の実施

利用実態を把握し図書館運営の参考にするため、県立図書館と共同で11月13日~11月18日(県立図書館は11月14日~11月19日)の6日間に利用者アンケートを実施した。アンケートの結果と分析についてはホームページで公開している。

(エ) 職員の研修

例年、館内整理日に職員向けの研修会「専門家に資料を学ぶ」を1回開催している。令和5年度は、実施できなかった。

その他、館内整理日に館員による職員研修を実施したほか、神奈川県資料室研究会や神奈

川県図書館協会等が主催する研修会や全国図書館大会等に参加して研鑽に努めた。

新採用司書職員（当館は該当者なし）に対する研修は、県立図書館と共同で計画的に行った。

(オ) 職員の研究と発信

県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業ほかで、当館職員が研修の講師等を務めた。

県立図書館主催

月日	研修名	テーマ等	講師
6月8日(木) ～ 6月29日(木)	市町村図書館等職員 基礎研修（資料掲載）	「県立川崎図書館の機能と役割」	企画情報課 主査 石井 里枝
9月13日(水)	市町村図書館等職員専門研修 レファレンス （資料掲載）	レファレンス①理工系 「規格資料について」 「社史資料について」	企画情報課 主査 廣瀬 洋 司書 堀田 桃香

他団体主催

月日	派遣先	テーマ等	講師
7月4日(火)	昭和女子大学 図書館 学課程「情報サービス論」	「司書4年生の情報サービス論」	企画情報課 司書 堀田 桃香
9月23日(土)	川崎市立宮前図書館	「神奈川県立川崎図書館の魅力」	企画情報課 課長 稲木 美由紀

イ 施設の整備

(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備

閲覧室内で安全対策の施された無線 LAN 回線を整備し、利用者に提供している。

利用者が細かい文字の読解に供するため、LED 付ルーペを 1 台新設した。

当館の広報のため、KSP ホテルにカタログスタンドを設置し、利用案内等を配架した。

(イ) 環境マネジメントシステムの推進

環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守するとともに、電気などの省エネルギーや裏紙の利用等に取り組んだ。

9 令和5年度 講座等実施状況

(1) 展示

ア ものづくりギャラリー展示

開催期間	テーマ	内容
4月8日(土) ～ 10月11日(水)	家庭用ゲーム機の技術展	任天堂の家庭用ゲーム機「ファミリーコンピュータ」が発売されてから40年ということを受け、これまで発売されてきた家庭用ゲーム機の開発事情や使用されている技術について、関連する図書や雑誌をゲーム機の実機とともに展示した。
10月13日(金) ～ 3月30日(土)	ダムの技術と魅力	ダムの技術書や専門雑誌などの所蔵資料を紹介するとともに、ダムカードの展示やパネルの掲示などを通して、わかりやすくダムの技術と魅力を伝えた。前期は「ダムの技術・しくみ・治水」、後期は「神奈川のダム」を特集した。

イ ものづくり入門コーナー・公開書架（低書架）での展示

展示期間	テーマ
通年	藤嶋昭氏と光触媒
4月19日(水)～5月27日(土)	4月18日は発明の日
4月20日(木)～4月24日(月)	4月17日～23日 科学技術週間
4月24日(月)～6月9日(金)	4月28日は溶射の日
4月27日(木)～6月7日(水)	第43回 猿橋賞受賞 宮原ひろ子氏
5月16日(火)～7月5日(水)	はやぶさ 打ち上げから20年
5月27日(土)～6月21日(水)	講演会・企業の足跡を知る(4) 「鈴廣の歴史と受け継がれてきた伝統技術」 関連展示
6月9日(金)～7月25日(火)	コンピュータ・情報クラスタ
6月9日(金)～7月29日(土)	天気と気象
6月21日(水)～7月14日(金)	7月1日は弁理士の日
7月5日(水)～7月25日(火)	7月7日は川の日
7月5日(水)～8月21日(月)	花火
7月14日(金)～9月7日(木)	乳酸菌
7月25日(火)～8月29日(火)	夏休み特集
7月29日(土)～10月5日(木)	箱根・大涌谷名物 黒たまごはなぜ黒い？
8月21日(月)～9月18日(月)	即席ラーメン
8月29日(火)～9月30日(土)	防災の日

9月1日(金)～12月13日(水)	神奈川県ゆかりの社史に見る関東大震災(低書架)
9月7日(木)～10月24日(火)	月探査
9月18日(月)～10月6日(金)	イグ・ノーベル賞2023
9月30日(火)～10月28日(土)	県立川崎図書館の本で読む芸術
10月5日(木)～11月8日(水)	ノーベル賞関連展示
10月6日(金)～11月17日(金)	おいしいものづくり
10月24日(火)～11月24日(金)	スポーツをささえる技術
10月28日(土)～12月6日(水)	紅葉
10月31日(火)～12月4日(月)	2023年 本田賞
11月10日(金)～12月4日(月)	ペロブスカイト太陽電池
11月17日(金)～12月19日(火)	障がい者週間
11月24日(金)～1月12日(金)	里山の野生動物
12月6日(水)～2月9日(金)	睡眠
12月12日(火)～1月12日(金)	南極特集
12月12日(火)～12月28日(木)	生成AI
12月15日(金)～1月31日(水)	創刊60周年ブルーボックス展(低書架)
12月19日(火)～2月26日(月)	水素エネルギー
12月20日(水)～展示中※	神資研寄贈
1月5日(金)～1月27日(土)	「知財」って何?
1月12日(金)～3月22日(金)	2023年度「科学道100冊 傑作選」
1月27日(土)～3月8日(金)	小型月着陸実証機SLIM(スリム)月面着陸成功!
2月1日(木)～6月12日(水)	お札のニューフェイス(低書架)
2月9日(金)～3月13日(水)	身近なテクノロジー～家電～
2月26日(月)～3月26日(火)	守るテクノロジー
3月8日(金)～3月22日(金)	プリツカー賞 山本理顕氏が受賞
3月15日(金)～展示中※	館報『ものづくり文化』Vol.65
3月22日(金)～6月18日(火)	量子コンピュータ
3月22日(金)～6月7日(金)	理数の学び直し
3月26日(火)～5月27日(月)	失敗学

※ 令和6年7月31日時点

ウ 社史コーナー展示

5月12日から3月末にかけて「すごい社史展示」を21回に分けて行った。

エ 社史フェア

開催期間	テーマ等	参加人数
12月6日(水) ～ 12月9日(土)	社史フェア 2023 2022年刊行の社史 235点の書誌と内容をまとめたパネルと ともに業種分野別に展示。	延べ 181人

(2) 講演会等

ア ものづくりギャラリー展示関連講演会・イベント【会場開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
8月19日(土) 14:00～15:30	「家庭用ゲーム機」の正体 講師：山田 剛良 氏 (日経BP 技術プロダクツユニット クロスメディア編集委員)	35人

イ 文字・活字文化の日記念講演会【会場開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
11月18日(土) 14:00～15:20	近代活字資料を読み取る OCR の概要と活用事例 講師：神田 武 氏、栗原 洸太 氏 (株式会社モルフォ AI ソリューションズ)	13人

※「サ 神奈川県立川崎図書館出前講座」と同内容

ウ 講演会・企業の足跡を知る【会場開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
6月17日(土) 14:00～16:00	第4回 鈴廣の歴史と受け継がれてきた伝統技術 講師：植木 暢彦 氏 (株式会社鈴廣蒲鉾本店 魚肉たんぱく研究所所長)	25人

エ 大人の理科教室【会場開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
1月27日(土) 13:30～15:00	光のスペクトルを作ってみよう！！ 講師：瀧本 憲一 氏 ((特非) NPO ブルーアース)	14人

オ 子ども科学実験室【会場開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
8月5日(土) ①10:00～11:30 ②13:30～15:00	おもしろ理科教室「ビー玉で逆立ちコマを作ろう」 講師：山田 喜代信 氏 ((特非) NPO ブルーアース) ※1回目小学1～3年、2回目小学4～6年	①19人 保護者14人 ②18人 保護者17人

カ ミニレクチャー【オンライン+会場開催】※第2回のみ会場開催

開催日時	テーマ等	参加人数
7月20日(木) 14:00~14:30	【第1回】県立川崎図書館を使いたおそう！図書・雑誌・規格・電子書籍編 講師：廣瀬 洋（川崎図書館）	7人
7月25日(火) 17:00~17:30	【第2回】県立川崎図書館を使いたおそう！図書・雑誌・規格・電子書籍編 講師：廣瀬 洋（川崎図書館）	1人
9月21日(木) 14:00~14:30	【第3回】県立川崎図書館を使いたおそう！日経テレコン・社史編 講師：堀田 桃香（川崎図書館）	7人
1月16日(火) 14:00~14:30	【第4回】特許や商標を調べてみよう 講師：奥村 由香（川崎図書館）	31人
2月20日(火) 14:00~14:30	【第5回】自宅で論文検索体験「JDreamIII」を使ってみよう 講師：島崎 睦（川崎図書館）	36人
計		82人

キ 図書館で学ぶ知的財産セミナー【会場開催】

（共催：日本弁理士会関東会、KISTEC、当館）

開催日時	テーマ等	参加人数
10月27日(金) 13:00~14:05 14:10~15:15	【第1回】特許（外国出願を含む）・発明の発掘と把握 [前半/一般の方向け] 「特許（外国出願を含む）特許とは何か、特許取得のメリット・デメリットについて考えます」 講師：木下 茂 氏（弁理士） [後半/技術者向け] 「発明の発掘と把握 その技術も発明です」 講師：保科 敏夫 氏（弁理士）	20人
12月22日(金) 14:00~15:05 15:10~16:15	【第2回】意匠・商標、発明事例1 [前半/一般の方向け] 「意匠・商標「技術で勝って、ビジネスで負ける」と言われないように。デザイン、マーケティング、広報、営業に携わる方々に向けて」 講師：渡辺 貴康 氏（弁理士） [後半/技術者向け] 「発明事例1 必要は発明の母+発想があれば特許にできる。」 講師：金子 正彦 氏（弁理士）	25人

2月22日(木) 14:00～15:05 15:10～16:15	【第3回】著作権および生成AI、こんなものでも発明として権利化できる。 [前半/一般の方向け] 「著作権および生成AI」 講師：高原 千鶴子 氏（弁理士） [後半/技術者向け] 「こんなものでも発明として権利化できる。」 講師：西山 恵三 氏（弁理士）	31人
計		76人

ク 知財セミナー【会場開催】

(主催：KISTEC 共催：(株)ケイエスピー、当館)

開催日時	テーマ等	参加人数
7月6日(木) 16:00～17:10	使える特許と生かし方 講師：山田 篤史 氏（株式会社EIPD） 中村 哲平 氏（弁理士法人南青山国際特許事務所）	23人

ケ 神奈川県立川崎図書館 知的財産活用のポイントセミナー

【オンライン+会場開催】

(共催：INPIT 神奈川県知財総合支援窓口、KISTEC、当館)

開催日時	テーマ等	参加人数
6月6日(火) 13:30～15:30	【第1回】営業秘密を守るために必要なこと！ [第1部] 営業秘密侵害事件から見える営業秘密管理の課題 講師：笹森 雄悦 氏（神奈川県警察本部生活経済課） [第2部] はじめての営業秘密管理－会社の秘密を守り活用するには－ 講師：小高 邦夫 氏（INPIT 知的財産戦略アドバイザー）	31人
7月4日(火) 13:30～16:00	【第2回】J-PlatPat 操作実習 [第1部] J-PlatPat 操作実習 講師：風間 謙一 氏（INPIT 知財情報部部長代理） [第2部] 外国特許の検索方法について 講師：高橋 光男 氏（神奈川県知財総合支援窓口）	11人
計		42人

※第1回はオンライン開催、第2回は会場開催

コ 企業関係者と弁理士の知財研究会【会場＋オンライン開催】

(日本弁理士会関東会との連携事業)

開催日時	テーマ等	参加人数
5月25日(木) 15:30～17:00	先使用权 司会・進行：樋口 正樹 氏 (弁理士) 岡田 健太郎 氏 (弁護士・弁理士)	10人
7月27日(木) 15:30～17:00	知的財産とマーケティング 経営層や他部門と連携して企業価値を向上させるために知財の 人がマーケティングも学んでみた ～日本のものづくりを持続させるために～ 司会・進行：鈴木 健治 (弁理士)	6人
9月28日(木) 15:30～17:00	マツモトキヨシ事件 (商標法4条1項8号の登録要件を緩和する法律案とブランド戦略展開に向けた商標制度の課題について) 司会・進行：高原 千鶴子 氏 (弁理士)	4人
11月30日(木) 15:30～17:00	水際取締制度 専門委員から見た輸入差止申立制度の実際 司会・進行：青木 充 氏 (弁理士)	4人
1月25日(木) 15:30～17:00	特許分割出願 分割出願の活用と分割の要件について 司会・進行：高木 康志 氏 (弁理士)	7人
3月8日(金) 15:30～17:00	AI 関連発明 司会・進行：藪田 豊 氏 (弁理士)	7人
計		38人

サ 神奈川県立川崎図書館出前講座【会場開催】

(主催：高津区役所 会場：高津市民館)

開催日時	テーマ等	参加人数
11月18日(土) 14:00～15:20	近代活字資料を読み取る OCRの概要と活用事例 講師：神田 武 氏、栗原 洸太 氏 (株式会社モルフォ AI ソリューションズ)	13人

※「高津区生涯学習支援事業」の一環として当館が協力

※「イ 文字・活字文化の日記念講演会」と同内容

事業統計
(令和5年度)

第1表 部門別蔵書冊数

区 分	5年度当初冊数	受 入						払 出	分類変更 配架変更	差 引 増 減	5 年 度 末 冊 数	分類別 比率(%)
		購 入	寄 贈	管理換	編 入	その他	小 計					
0 総 記	12,625	64	7	0	0	0	71	348	0	-277	12,348	4.8%
1 哲 学	238	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238	0.1%
2 歴 史	5,429	6	0	0	0	0	6	2	0	4	5,433	2.1%
3 社 会 科 学	12,810	11	27	0	0	0	38	925	0	-887	11,923	4.6%
4 自 然 科 学	53,959	165	35	0	0	2	202	872	1	-669	53,290	20.7%
5 技 術 ・ 工 学	119,074	320	260	0	0	2	582	984	1	-401	118,673	46.1%
6 産 業	14,435	17	27	0	0	0	44	960	1	-915	13,520	5.2%
7 芸 術 ・ 美 術	489	2	6	0	0	0	8	0	0	8	497	0.2%
8 言 語	389	4	0	0	0	0	4	0	0	4	393	0.2%
9 文 学	2,004	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,004	0.8%
社 史 等	21,607	6	342	0	0	0	348	10	-3	335	21,942	8.5%
規 格	7,206	90	11	0	0	0	101	0	0	101	7,307	2.8%
児 童 書	10,488	0	0	0	0	0	0	539	0	-539	9,949	3.9%
合 計	260,753	685	715	0	0	4	1,404	4,640	0	-3,236	257,517	100.0%
洋 書	(6,402)	(2)	(13)	(0)	(0)	(0)	(15)	(0)	(0)	(15)	(6,417)	(2.5%)

※洋書は()に内数で記入

第2表 逐次刊行物保有状況

ア. 雑 誌

4年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	5年度末タイトル数	うち継続収集		
					購 入	寄贈(会費 負担)	寄 贈
8,063	5	8	-3	8,060	321	76	687
(2,192)	(0)	(0)	(0)	(2,192)	(2)	(0)	(42)

※外国語雑誌は()に内数で記入

イ. 新 聞

4年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	5年度末タイトル数	うち継続収集	
					購 入	寄 贈
33	1	1	0	33	6	21

第3表 その他資料の保有状況

ア. 視 聴 覚 資 料

区 分	4年度末数	受 入					払 出	5年度末数
		購 入	寄 贈	管理換	その他	計		
個 人 貸 出 用	229	0	0	0	0	0	0	229
団 体 貸 出 用	357	3	0	0	0	3	3	357
合 計	586	0	0	0	0	3	3	586

イ. C D - R O M

区 分	4年度末数	受 入	払 出	5年度末数
規 格 ・ 特 許 関 連	36	0	0	36
新 聞	1	0	0	1
科 学 技 術 文 献 速 報	12	0	0	12
計	49	0	0	49

ウ. マ イ ク ロ フ ィ ル ム

4年度末数	受 入	払 出	5年度末数
0	467	0	467

第4表 電子書籍・電子ジャーナル等の提供状況

区 分	提供タイトル数
電 子 書 籍	177
電 子 ジャーナル等	21

※電子書籍のタイトル数は両県立図書館で共通

第5表 開館日数・入館者数

区分	月別												合計
	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	61年1月	2月	3月	
開館日数	18	26	25	25	26	25	25	25	23	22	24	25	289
入館者数	5,265	8,287	7,687	8,973	10,096	10,529	8,253	7,907	7,506	7,514	9,060	8,616	99,693
1日平均	293	319	308	359	388	421	330	316	326	342	378	345	345
前年度入館者数	4,368	6,131	5,938	6,464	7,100	6,467	6,590	6,855	6,135	6,207	8,026	7,731	78,012
前年度1日平均	230	245	238	259	273	259	264	274	267	282	349	297	270

第6表 レファレンス件数

ア. 館内レファレンス

区分	月別												合計	比率(%)	
	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	61年1月	2月	3月			
質問件数	243	357	356	407	382	440	311	322	330	319	322	311	4,100	100%	
1日平均 (開館日)	13.5	13.7	14.2	16.3	14.7	17.6	12.4	12.9	14.3	14.5	13.4	12.4	14.2	-	
分野別	自然科学	1	5	4	7	11	9	7	5	8	2	6	1	66	1.6%
	工学・産業	19	43	44	37	39	46	40	31	35	21	24	410	10.0%	
	社会・人文科学	5	8	18	22	14	12	14	9	6	7	5	9	129	3.2%
	社史	9	12	21	9	8	16	13	24	16	10	13	10	161	3.9%
	利用ガイド	206	281	263	328	305	357	232	249	263	267	271	261	3,283	80.1%
	ビジネス	3	8	6	4	5	0	5	4	2	2	6	6	51	1.2%
訳別	口頭	186	251	240	306	278	340	215	236	246	226	229	224	2,977	72.6%
	電話	51	97	110	95	92	93	81	77	82	79	85	77	1,019	24.9%
	文書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	メール	6	9	6	6	12	7	15	9	2	14	8	10	104	2.5%
前年度件数	236	359	303	297	298	316	283	284	271	247	238	338	3,470	-	
前年度1日平均	12.4	14.4	12.1	11.9	11.5	12.6	11.3	11.4	11.8	11.2	10.3	13.0	12.0	-	

イ. 協カレファレンス

区分	月別												合計	比率(%)	
	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	61年1月	2月	3月			
質問件数	9	26	5	7	3	8	13	10	8	6	7	7	109	100%	
1日平均 (開館日)	0.5	1.0	0.2	0.3	0.1	0.3	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	-	
分野別	自然科学	1	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	7	6.4%	
	工学・産業	1	6	2	2	2	4	6	3	3	2	3	2	36	33.0%
	社会・人文科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.9%	
	社史	1	8	0	3	1	1	3	2	1	0	0	0	20	18.4%
	利用ガイド	6	9	3	2	0	3	3	3	4	4	4	4	45	41.3%
	ビジネス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
訳別	口頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	電話	5	21	5	6	2	8	11	7	6	5	5	6	87	79.8%
	文書	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5.5%
	メール	0	3	0	1	1	0	2	3	2	1	2	1	16	14.7%
前年度件数	12	8	18	9	15	17	16	13	19	3	15	11	156	-	
前年度1日平均	0.6	0.3	0.7	0.4	0.6	0.7	0.6	0.5	0.8	0.1	0.7	0.4	0.5	-	

ウ. レファレンス総数

区分	月別												合計
	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	61年1月	2月	3月	
総数	252	383	361	414	385	448	324	332	338	325	329	318	4,209
1日平均 (開館日)	14.0	14.7	14.4	16.6	14.8	17.9	13.0	13.3	14.7	14.8	13.7	12.7	14.6
内館内レファレンス	243	357	356	407	382	440	311	322	330	319	322	311	4,100
訳協カレファレンス	9	26	5	7	3	8	13	10	8	6	7	7	109

第7表 書庫内資料の利用数

ア. K S P 書庫

区分	月別												合計	
	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月		
総数	1,516	1,984	1,928	2,479	2,920	1,977	1,832	2,194	1,376	1,404	1,924	1,951	23,485	
1日(開館日)平均	84.2	76.3	77.1	99.2	112.3	79.1	73.3	87.8	59.8	63.8	80.2	78.0	81.3	
内訳	図書	15	41	35	18	29	104	38	19	19	28	14	17	377
	雑誌	1,237	1,675	1,548	2,102	2,486	1,442	1,401	1,851	1,072	1,004	1,605	1,581	19,004
	外国語雑誌	(19)	(9)	(62)	(122)	(28)	(38)	(24)	(14)	(19)	(13)	(23)	(48)	(419)
	新聞	58	61	58	80	110	98	101	66	109	189	59	90	1,079
	付録電子媒体等	206	207	287	279	295	333	292	258	176	183	246	263	3,025
前年度総数	1,818	2,079	2,115	1,825	2,484	1,998	3,214	2,720	2,244	1,585	4,857	2,767	29,706	

※外国語雑誌は()に内数で記入

イ. 相模原書庫

区分	月別												合計
	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	
取寄冊数	305	332	348	380	363	309	325	262	265	306	339	254	3,788
1日(開館日)平均	16.9	12.8	13.9	15.2	14.0	12.4	13.0	10.5	11.5	13.9	14.1	10.2	13.1
前年度総数	324	320	342	336	315	345	355	312	340	368	330	344	4,031

ウ. 野庭収蔵庫

区分	月別												合計	
	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月		
取寄冊数	36	46	38	63	42	31	36	34	43	36	16	24	445	
内訳	外国語雑誌	5	11	1	5	13	5	11	4	3	2	1	7	68
	和雑誌	2	0	0	1	1	0	2	2	22	4	1	0	35
	図書	29	35	37	57	28	26	23	28	18	30	14	17	342
複写枚数	34	4	6	10	130	35	48	41	2	10	15	18	353	
内訳	外国語雑誌	8	4	6	10	60	27	31	19	2	4	12	18	201
	和雑誌	0	0	0	0	0	8	17	12	0	6	3	0	46
	図書	26	0	0	0	70	0	0	10	0	0	0	0	106
前年度	取寄冊数	310	41	39	29	32	47	41	39	35	31	24	81	749
	複写枚数	57	54	27	31	90	70	84	36	7	40	14	17	527

エ. 総数

区分	月別												合計
	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	
冊数	1,857	2,362	2,314	2,922	3,325	2,317	2,193	2,490	1,684	1,746	2,279	2,229	27,718

第8表 電子書籍、電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数

ア. 電子書籍閲覧件数

区分	月別												合計	前年度末
	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月		
閲覧件数	236	191	516	402	377	209	360	660	277	245	392	344	4,209	4,880

※電子書籍サービスは令和4年6月から開始

イ. 電子ジャーナル・データベース利用人数等

区分		月別												合計	前年度末
		5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月		
国内学会誌	利用人数	64	57	46	65	67	57	43	45	53	36	54	42	629	676
	複写枚数	555	318	421	521	403	272	338	280	375	223	448	207	4,361	5,813
Taylor & Francis	利用人数	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	5	5
	複写枚数	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0
J DreamⅢ	利用人数	3	6	4	6	7	4	2	4	3	3	6	5	53	60
	複写枚数	80	73	110	46	13	123	6	36	148	96	39	104	874	1,236
CiNii	利用人数	28	29	21	23	24	20	21	22	20	16	27	21	272	226
	複写枚数	2	0	8	16	0	0	0	2	0	25	0	4	57	438
JP-NET	利用人数	0	1	3	1	0	1	1	0	0	0	2	1	10	20
	複写枚数	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	17	1,484
J-PlatPat	利用人数	0	2	1	0	1	1	3	3	0	1	2	1	15	21
	複写枚数	0	0	0	0	5	14	6	514	0	66	0	0	605	705
日経テレコン21	利用人数	3	3	5	4	1	3	2	1	2	5	4	2	35	43
	複写枚数	25	4	16	23	0	0	0	1	0	25	4	0	98	219
国会デジタル	利用人数	1	6	0	2	1	1	0	0	0	0	3	1	15	19
	複写枚数	0	27	0	0	7	0	0	0	0	0	0	9	43	78
その他	利用人数	21	24	19	16	20	21	22	23	22	18	25	22	253	202
	複写枚数	0	7	31	11	22	28	25	33	11	37	100	37	342	613
合計	利用人数	122	128	99	117	121	108	94	98	101	79	125	95	1,287	1,272
	複写枚数	695	429	586	617	450	454	375	866	534	472	591	361	6,430	10,586

※国内学会誌…化学工学会論文集、日本機械学会の刊行物、土木学会論文集、電子情報通信学会論文誌、電子情報通信学会技術研究報告
 情報処理学会研究報告／論文誌、エネルギー・資源、品質、表面科学(表面と真空)、熱処理、日本金属学会講演概要集、地盤工学会誌
 溶接学会誌(全国大会講演概要集含む)、自動車技術会学術講演会講演予稿集

第9表 個人貸出登録者数

区分	4年度末	登録削除数	月別												合計	5年度末
			5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月		
登録者数	5,669	1,184	91	104	104	96	133	95	71	71	67	52	78	87	1,049	5,534

第10表 個人貸出冊数

月別 区分	5年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年	1月	2月	3月	合計	分類別 比率(%)	前年度 貸出冊数
	4月									1月						
貸出冊数	1,442	1,768	1,645	1,647	1,766	1,761	1,624	1,731	1,581	1,707	1,560	1,931	20,163	100%	20,110	
1日平均 (開館日)	80.1	68.0	65.8	65.9	67.9	70.4	65.0	69.2	68.7	77.6	65.0	77.2	69.8	-	69.6	
内 部 別	一般図書	1,401	1,710	1,556	1,600	1,684	1,712	1,580	1,652	1,522	1,589	1,514	1,846	19,366	96.0%	19,131
	0 総記	134	156	210	196	128	187	156	134	185	151	142	181	1,960	9.7%	1,771
	1 哲学	40	49	36	42	48	54	37	43	32	47	38	45	511	2.5%	357
	2 歴史	53	59	54	51	56	75	40	49	58	42	49	60	646	3.2%	552
	3 社会科学	133	141	110	79	117	107	136	132	114	117	106	114	1,406	7.0%	1,261
	4 自然科学	394	509	448	503	512	471	412	444	397	449	366	501	5,406	26.8%	5,029
	5 技術・工学	464	539	550	563	578	626	575	599	503	542	591	704	6,834	33.9%	7,664
	6 産業	35	46	28	41	65	45	43	53	44	52	47	47	546	2.7%	592
	7 芸術・美術	75	125	64	63	103	85	104	96	90	101	90	94	1,090	5.4%	990
	8 言語	10	7	5	7	6	7	9	15	2	3	6	2	79	0.4%	63
9 文学	63	79	51	55	71	55	68	87	97	85	79	98	888	4.4%	852	
社史等	41	58	89	47	82	49	44	79	59	118	46	85	797	4.0%	979	
前年度貸出冊数	1,521	1,582	1,571	1,550	1,529	1,860	1,804	1,689	1,847	1,720	1,701	1,736	20,110	-	-	
前年度1日平均	80.1	63.3	62.8	62.0	58.8	74.4	72.2	67.6	80.3	78.2	74.0	66.8	69.6	-	-	

第11表 リクエストサービス

月別 区分	5年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年	1月	2月	3月	合計	比率(%)
	4月									1月					
総数	601	643	560	511	630	604	643	690	699	642	683	700	7,606	100%	
内 部 別	自然科学	74	102	110	103	91	101	92	88	86	96	94	101	1,138	15.0%
	工学・産業	197	146	159	164	212	203	179	214	226	193	259	231	2,383	31.3%
	社会・人文科学	321	390	277	238	322	289	367	387	374	346	324	353	3,988	52.4%
	社史等	9	5	14	6	5	11	5	1	13	7	6	15	97	1.3%
内 部 別	返却待	230	185	227	231	292	226	205	226	229	229	285	272	2,837	37.3%
	購入	0	0	0	2	0	0	3	6	0	1	0	0	12	0.2%
	他館から借受	318	415	279	241	305	330	389	384	386	360	334	372	4,113	54.1%
	(県立)	(302)	(373)	(235)	(209)	(256)	(282)	(324)	(335)	(356)	(337)	(286)	(327)	(3,622)	(47.6%)
	(市町村)	(16)	(39)	(38)	(29)	(45)	(42)	(63)	(47)	(28)	(17)	(38)	(40)	(442)	(5.8%)
	(県内機関その他)	(0)	(0)	(5)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(1)	(2)	(8)	(1)	(19)	(0.2%)
	(県外)	(0)	(3)	(1)	(3)	(3)	(6)	(2)	(1)	(1)	(4)	(2)	(4)	(30)	(0.4%)
取消等	53	43	54	37	33	48	46	74	84	52	64	56	644	8.5%	
前年度総数	574	378	501	417	425	872	706	698	789	654	696	710	7,420	-	

※()は内数

第12表 複写サービス

区分	月別	6年												合計	比率(%)	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
総数	人数	172	250	218	210	221	222	202	212	214	182	203	216	2,522	100%	
	枚数	6,394	8,751	7,380	7,503	7,961	6,879	7,070	7,226	7,255	7,193	7,830	6,689	88,131	100%	
1日平均 (開館日)	人数	9.6	9.6	8.7	8.4	8.5	8.9	8.1	8.5	9.3	8.3	8.5	8.6	8.7	-	
	枚数	355.2	336.6	295.2	300.1	306.2	275.2	282.8	289.0	315.4	327.0	326.3	267.6	305.0	-	
内訳	コピー	人数	118	180	156	149	158	161	137	148	154	134	142	151	1,788	70.9%
		枚数	5,168	7,612	6,178	6,245	7,009	5,798	5,982	5,852	6,339	6,377	6,674	5,958	75,192	85.3%
	データベース等	人数	46	46	42	48	46	48	52	51	49	40	54	55	577	22.9%
		枚数	1,096	872	960	1,153	730	983	1,004	1,249	853	748	1,050	685	11,383	12.9%
	国データ	人数	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4	0.2%
		枚数	0	27	0	0	7	0	0	0	0	0	0	9	43	0.1%
	郵送	人数	8	22	20	13	16	13	13	13	11	8	7	9	153	6.0%
		枚数	130	240	242	105	215	98	84	125	63	68	106	37	1,513	1.7%
	前年度総数	人数	251	226	203	235	248	214	228	244	244	195	218	233	2,739	-
		枚数	7,739	8,729	9,253	9,768	11,458	10,808	9,142	10,713	8,821	6,973	9,446	7,892	110,742	-

※データベース等の数はオンライン、CD-ROM資料のプリンター出力による複写申込人数及び枚数

第13表 講習会・講座・講演会等

区分	月別	6年												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開催回数		0	1	2	5	2	2	1	3	2	3	2	1	24
参加人数		0	10	56	48	72	11	20	288	206	52	67	7	837
前年度	実施回数	0	1	1	1	3	2	3	3	3	4	5	2	28
	参加人数	0	14	20	11	64	25	60	74	151	90	111	27	647

※参加人数は保護者を含めた数字

第14表 知的財産関連等相談

ア. 知財総合支援相談

区分	月別 4月	5年												合計
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開催回数	1	1	1	1	1	0	0	1	1	2	2	1	12	
実施回数	1	1	1	1	1	0	0	1	1	2	2	1	12	
利用者数	1	1	3	1	1	0	0	1	1	3	3	1	16	
相談件数	1	1	3	1	1	0	0	1	1	3	3	1	16	
内訳	特許・実用新案	1	1	1	0	1	0	0	1	1	3	2	1	12
	意匠・商標	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	5
	分類・調査・制度他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
前年度開催数	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	2	7	
前年度実施回数	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	2	7	
前年度利用者数	0	3	2	0	1	0	0	1	0	1	0	4	12	
前年度相談件数	0	2	2	0	1	0	0	1	0	1	0	4	11	

※実施回数は開催回数のうち、実際に相談があった日数

イ. 創業・経営相談

区分	月別 4月	5年												合計
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開催回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
実施回数	1	0	1	2	1	0	2	1	0	1	0	0	9	
利用者数	1	0	1	2	2	0	2	1	0	1	0	0	10	
相談件数	1	0	1	2	2	0	2	1	0	1	0	0	10	
前年度開催数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
前年度実施回数	1	2	0	1	0	1	1	0	1	0	2	0	9	
前年度利用者数	1	3	0	1	0	1	1	0	2	0	2	0	11	
前年度相談件数	1	3	0	1	0	1	1	0	2	0	2	0	11	

ウ. 知的財産相談

区分	月別 4月	5年												合計
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開催回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
実施回数	0	0	1	2	1	2	1	0	0	0	0	0	7	
利用者数	0	0	3	5	1	3	1	0	0	0	0	0	13	
相談件数	0	0	3	4	1	2	1	0	0	0	0	0	11	
内訳	特許・実用新案	0	0	1	3	2	2	0	0	0	0	0	8	
	意匠・商標	0	0	3	0	1	0	2	0	0	0	0	6	
	分類・調査・制度他	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	
前年度開催数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
前年度実施回数	2	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	6	
前年度利用者数	3	0	0	4	1	0	0	0	0	1	0	0	9	
前年度相談件数	3	0	0	4	1	0	0	0	0	1	0	0	9	

第15表 視聴覚資料の貸出状況

ア. 個人

区分	5年4月			5年5月			5年6月			5年7月			5年8月			5年9月			5年10月			5年11月			5年12月			6年1月			6年2月			6年3月			合計						
	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数				
科学技術ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県立図書館所蔵資料	121	172	2	172	2	1	2	1	0	0	0	80	129	174	162	152	188	1,181																									
計	121	172	2	172	2	1	2	1	0	0	0	80	129	174	162	152	188	1,181																									
前年度総数	74	104	57	42	61	82	115	111	122	133	119	151	1,171																														

イ. 団体

区分	4年度末	期限切れ	5年4月	5年5月	5年6月	5年7月	5年8月	5年9月	5年10月	5年11月	5年12月	6年1月	6年2月	6年3月	年度合計	5年度末
登録者	52	16	4	1	5	2	2	3	3	0	0	1	2	2	25	61

区分	5年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		6年1月		2月		3月		合計			
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
ビデオ	7	1	4	0	11	4	14	2	6	4	7	2	12	1	5	0	4	1	5	0	8	2	2	0	2	0	85	17
D V D	24	4	13	11	24	14	40	6	18	7	21	12	34	5	19	4	10	4	11	5	24	8	6	2	6	85	244	
上映回数	42	27	75	148	25	55	103	24	21	14	46	26	606															
参加人数	976	232	1,939	2,374	850	1,800	1,982	409	222	274	587	66	11,711															
前年度	ビデオ	5	0	4	2	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	16	
	D V D	13	10	28	13	7	9	11	11	12	3	10	4	12	3	12	3	10	3	12	3	12	4	18	100	294		
前年度	43	54	123	124	64	55	134	50	19	18	14	43	741															
前年度	425	275	2,481	1,758	913	842	3,240	483	133	301	301	414	11,566															

第16表 他の図書館等への貸出状況

区分	5年4月			5年5月			5年6月			5年7月			5年8月			5年9月			5年10月			5年11月			5年12月			6年1月			6年2月			6年3月			合計		
	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数	件数	点数	貸出回数
公共図書館	309	402	421	353	377	325	305	364	312	396	386	321	4,271																										
機内訳	県立図書館	190	226	275	220	232	201	181	193	192	261	247	192	2,610																									
	市町村立図書館等	102	148	135	115	132	109	104	146	106	114	128	117	1,456																									
	県外の図書館	17	28	11	18	13	15	20	25	14	21	11	12	205																									
横浜西口カウンター	177	235	219	248	233	214	236	155	208	164	175	154	2,418																										
企業ライブラリー等	7	0	7	9	3	3	5	2	2	4	6	8	56																										
高校連携	7	6	12	11	5	4	1	3	3	5	3	6	66																										
大学	5	4	3	2	0	3	2	2	8	3	8	2	42																										
行政支援	3	0	4	0	3	1	2	0	0	3	1	1	18																										
NACSIS-IILL	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	5																										
前年度貸出冊数	439	475	517	359	381	622	566	541	581	633	496	558	6,168																										

第17表 年度別蔵書冊数

	蔵書冊数	増減
昭和 33 年度	16,075	—
34	28,090	12,015
35	36,789	8,699
36	44,682	7,893
37	53,486	8,804
38	63,876	10,390
39	71,711	7,835
40	79,701	7,990
41	89,317	9,616
42	99,497	10,180
43	109,870	10,373
44	120,816	10,946
45	137,375	16,559
46	152,181	14,806
47	166,087	13,906
48	182,152	16,065
49	199,488	17,336
50	209,336	9,848
51	218,928	9,592
52	229,077	10,149
53	238,809	9,732
54	235,621	△ 3,188
55	232,394	△ 3,227
56	233,064	670
57	226,921	△ 6,143
58	228,885	1,964
59	228,108	△ 777
60	221,650	△ 6,458
61	220,327	△ 1,323
62	217,371	△ 2,956
63	215,189	△ 2,182
平成 元 年度	218,584	3,395
2	223,071	4,487
3	234,166	11,095
4	244,658	10,492
5	251,381	6,723
6	256,398	5,017
7	250,362	△ 6,036
8	242,713	△ 7,649
9	190,111	△ 52,602
10	191,949	1,838
11	195,731	3,782
12	201,259	5,528
13	206,840	5,581
14	211,853	5,013
15	217,546	5,693
16	223,151	5,605
17	224,615	1,464
18	231,386	6,771
19	233,312	1,926
20	236,900	3,588
21	241,823	4,923
22	245,994	4,171
23	246,191	197
24	249,666	3,475
25	252,734	3,068
26	255,368	2,634
27	258,799	3,431
28	260,640	1,841
29	258,837	△ 1,803
30	260,656	1,819
令和 元 年度	260,103	△ 553
2	261,447	1,344
3	259,076	△ 2,371
4	260,753	1,677
5	257,517	△ 3,236

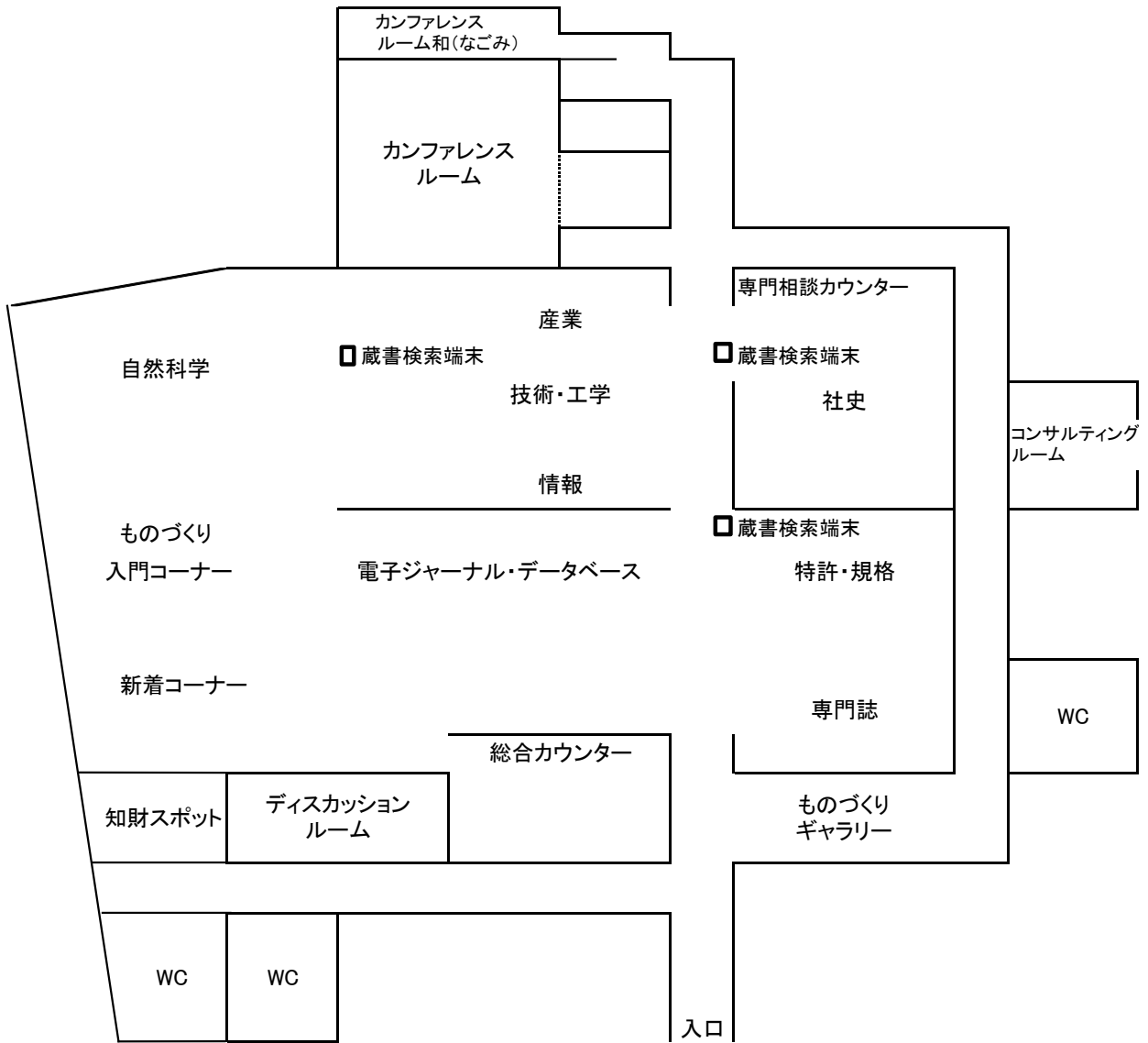
第18表 年度別入館者数・個人貸出冊数

	開館日数	入館者数	貸出冊数
昭和 33 年度	63	27,488	—
34	278	142,623	2,068
35	277	120,484	28,196
36	253	129,667	26,309
37	275	163,146	34,424
38	275	162,612	31,530
39	277	155,305	29,810
40	276	155,298	33,868
41	270	150,743	35,873
42	272	142,266	30,722
43	269	132,809	31,591
44	271	137,863	40,312
45	260	127,299	45,406
46	260	142,256	56,913
47	271	157,499	72,217
48	271	150,620	81,218
49	270	159,838	93,715
50	272	168,383	108,517
51	270	159,802	107,627
52	271	158,010	113,604
53	271	168,196	102,747
54	271	154,982	88,085
55	271	135,158	88,376
56	255	133,192	89,106
57	251	120,037	91,691
58	272	189,379	144,147
59	271	212,619	150,051
60	259 (134)	139,462 (27,648)	103,860 (36,670)
61	284	206,834	134,555
62	273	184,991	130,342
63	270	170,319	125,356
平成 元 年度	260	208,760	125,144
2	269	220,182	131,067
3	271	226,191	143,782
4	271	245,524	152,221
5	269	251,552	144,381
6	269	255,704	134,407
7	270	222,138	85,679
8	268	203,885	72,182
9	202	146,654	41,063
10	270	143,044	26,077
11	258	138,204	24,459
12	280	136,643	32,621
13	282	142,925	33,040
14	282	147,532	35,432
15	284	140,533	34,589
16	284	133,195	29,974
17	284	184,493	30,331
18	289	206,364	37,178
19	290	192,762	40,594
20	296	212,930	43,926
21	296	229,150	47,794
22	291	215,929	47,324
23	294	205,122	48,646
24	296	195,413	47,838
25	297	184,050	46,631
26	296	162,915	41,244
27	293	154,234	36,921
28	295	148,886	34,694
29	198	88,010	16,795
30	259	68,892	22,461
令和 元 年度	290	83,244	25,344
2	257	51,845	22,018
3	295	70,416	23,821
4	289	78,012	20,110
5	289	99,693	20,163

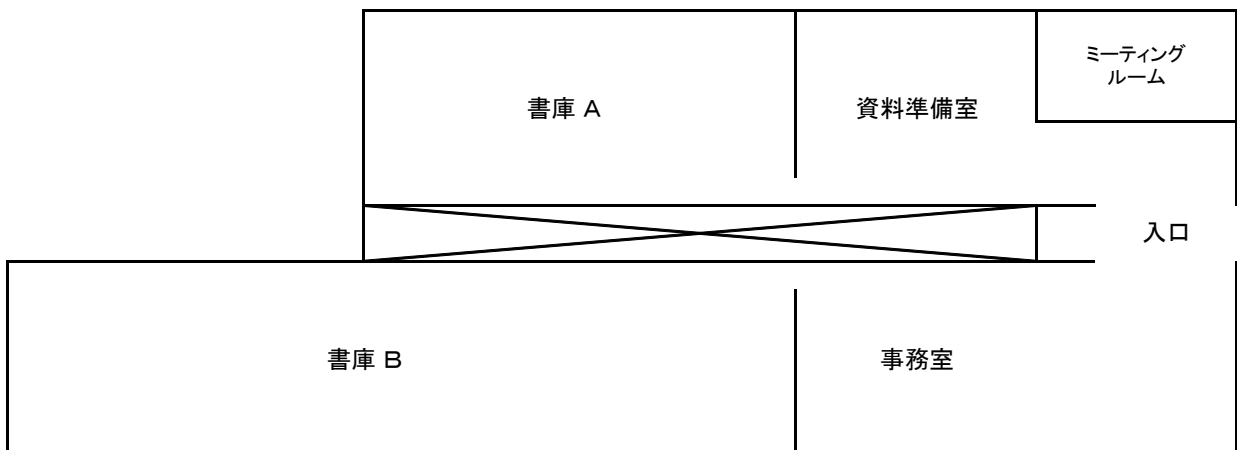
- ・ 昭和60年度仮設図書館における開館日数、貸出冊数は()内に内数で記入
- ・ 平成9年度は、リニューアルのため12月から一部休館。1月から全面休館
- ・ 平成29年度は、KSPへの移転のため、10月から一部休館、12月から全面休館
- ・ 平成30年度は、KSPにおける開館準備のため5月中旬まで休館
- ・ 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため3月4日から一部サービス休止
- ・ 令和2年度は、特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針を踏まえ、4月12日から5月26日の間臨時休館

館内案内図

○図書館(西棟2階)



○書庫・事務室(R&D棟2階)





電車 JR南武線「武蔵溝ノ口」駅 / 東急田園都市線・大井町線「溝の口」駅下車
徒歩15分

バス ①KSPシャトルバス（平日：午前10時以降、土祝休日：始発から）
溝ノ口駅 北口バスターミナル9番乗り場から「KSP行き」（直通）約5分

②市営バス
溝ノ口駅前 北口バスターミナル7番乗り場から
溝04系統、溝06系統、溝15系統、溝18系統 いずれも「高津中学校入口」
下車徒歩1分

令和6年度

神奈川県立川崎図書館要覧

令和6年8月発行

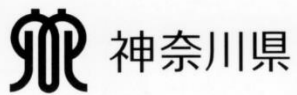
編集・発行 神奈川県立川崎図書館

館長 今部 一良

川崎市高津区坂戸3丁目2番1号

電話 (044) 299 - 7825 (代表)

F A X (044) 322 - 8878



神奈川県立川崎図書館

川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP R&D 棟 C-225 〒213-0012 電話 (044) 299-7825 (代表)